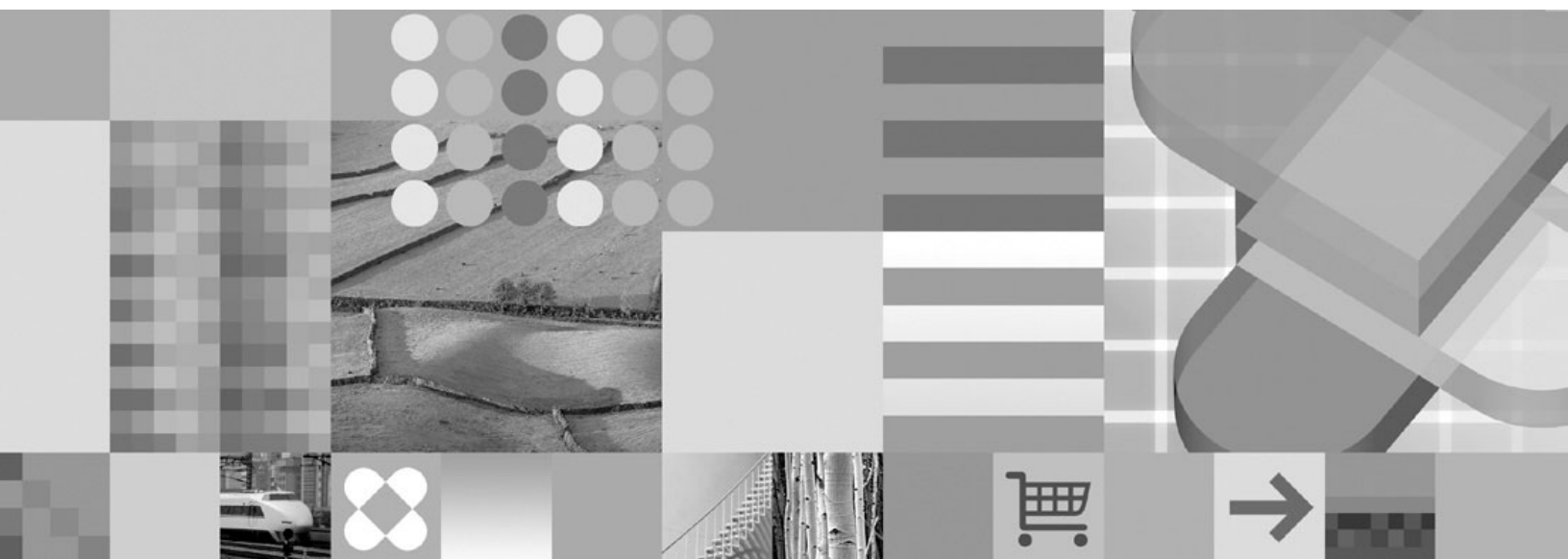




ユーザズ・ガイド



ユーザズ・ガイド

ご注意

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、63ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、SC88-8839-04 の改訂版です。

本書は、IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS and OS/390 バージョン 8 リリース 4 (プロダクト番号 5697-N93)、IBM DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms バージョン 8 リリース 4 (プロダクト番号 5724-J33)、IBM DB2 Content Manager OnDemand for i5/OS Common Server バージョン 5 (プロダクト番号 5722-RD1)、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) により開発されたソフトウェアが含まれています。

IBM 発行のマニュアルに関する情報のページ

<http://www.ibm.com/jp/manuals/>

こちらから、日本語版および英語版のオンライン・ライブラリーをご利用いただけます。また、マニュアルに関するご意見やご感想を、上記ページよりお送りください。今後の参考にさせていただきます。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： SC27-0836-05
DB2 Content Manager OnDemand
User's Guide

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2007.5

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1997, 2007. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2007

目次

本書について	v	「スタート」メニューからの開始	15
対象読者	vii	「ファイル名を指定して実行」ウィンドウからの開始	15
本書の使用方法	vi	第 6 章 サーバーへのログオン	17
操作環境について	vi	第 7 章 サーバー情報の更新	19
OnDemand での作業を始める前に	vi	TCP/IP サーバーに関する情報の更新	19
本書の構成	vi	TCP/IP サーバーの追加	19
本書の追加情報の入手先	vii	TCP/IP サーバーの変更	20
OnDemand のアクセシビリティ情報	viii	ローカル・サーバーに関する情報の更新	21
Web から入手可能なサポート	ix	CD-ROM サーバーの追加	21
教育研修	ix	ネットワークまたはハード・ディスク・サーバーの追加	22
マニュアル・出版物に関するご意見・ご質問	ix	ローカル・サーバーの変更	22
変更の要約	ix	サーバーの削除	23
第 1 章 概要	1	第 8 章 フォルダーのオープン	25
Content Manager OnDemand	1	第 9 章 文書の検索	29
OnDemand システム	2	概要	29
OnDemand 文書	3	文書の検索	30
OnDemand フォルダー	3	第 10 章 文書の作業	33
ヘルプの表示	3	概要	33
タスク・ヘルプの表示	3	表示のための文書の選択	34
Windows に関するヘルプの表示	3	複数文書の作業	35
メニュー・コマンドに関するヘルプの表示	3	文書の表示	36
ヘルプ索引の使用	3	文書内のページへの移動	36
第 2 章 要件	5	文書内の情報の検索	37
ハードウェア要件	5	文書への注の付加	38
ソフトウェア要件	5	文書の印刷とファックス送信	38
Adobe ソフトウェアについて	5	文書からの印刷	39
メモリー	6	文書リストからの印刷	39
ディスク・スペース	6	文書の送信	40
第 3 章 Windows へのクライアントのインストール	7	文書リストからの送信	40
OnDemand クライアント・ソフトウェアの入手方法	7	文書プロパティの表示	41
Windows へのクライアントのインストール	7	第 11 章 コマンド用のショートカットの作成	45
ユーザーのワークステーションへのクライアントのインストール	7	第 12 章 OnDemand サーバーとして CD-ROM を使用する	47
ネットワーク・ファイル・サーバーへのインストール	8	第 13 章 OnDemand セッションの終了	49
自動インストールの実行	8	文書のクローズ	49
ユーザー定義ファイルのインストール	8	フォルダーのクローズ	49
AFP フォントのマッピング	9	サーバーからのログオフ	50
第 4 章 クライアント・ソフトウェアの更新	11	OnDemand の停止	50
第 5 章 OnDemand クライアントの開始	13		
オプション: 始動パラメーターの指定	13		
パラメーターの指定	14		
デスクトップからの開始	15		

第 14 章 OnDemand クライアントの除去	51	付録. OnDemand for OS/390 Version	
第 15 章 OnDemand クライアント・コンポーネントの追加または除去	53	2.1 サーバーにアクセスするための OnDemand クライアントの構成	59
第 16 章 トラブルシューティング	55	ステップ 1: 推奨: setup.ini ファイルで設定値を指定する	59
トラブルシューティング・シナリオ 1: 別の言語の文書が正しく表示されない	55	ステップ 2: 必須: 必須コマンド行パラメーターを追加する	60
トラブルシューティング・シナリオ 2: AFP プラグインが、バックレベルの OnDemand クライアントで失敗する	55	ステップ 3: OLE を使用する場合には必須: SetFolderCloseMemoryRelease メソッドを使用する	61
トラブルシューティング・シナリオ 3: MAPI をインストールしても、「Send To」機能が使用できない	56	ステップ 4: 推奨: 「ショート・ソケット」モードで実行するようにクライアントを構成する	61
トラブルシューティング・シナリオ 4: PDF 文書を表示しようとするエラーが起こる	56	ステップ 5: OS/390 サーバーにアクセスするために「サーバーの更新」ウィンドウ内の「統合ログオンの試行」チェック・ボックスをクリアする	62
トラブルシューティング・シナリオ 5: 大きな文書を表示すると PDF がブランク・ページを表示する	56	特記事項	63
トラブルシューティング・シナリオ 6: スペースが含まれているフィールドを使って検索したが、検索結果が作成されなかった	57	商標	64
トラブルシューティング・シナリオ 7: 印刷された行データが非常に小さい	57	用語集	67
		索引	71

本書について

IBM® DB2® Content Manager OnDemand (OnDemand) クライアントをお買い上げいただきありがとうございます。このクライアントを使用して、OnDemand サーバーに対するアクセス、および文書¹の検索、取り出し、表示、および印刷 (およびその他の多数の処理) を行うことができます。

本書は OnDemand クライアントの開始方法、クライアントを使用した文書の検索方法、また文書に関連するその他の基本タスクの実施方法について説明します。

本書は、Windows® XP、Windows Vista、または Windows Server 2003 のもとで稼働する OnDemand クライアント・プログラムについて説明します。どのクライアント・プログラムを使用した場合にも、以下の基本作業を行うことができます。

- クライアントへのログオン
- フォルダのオープン
- 文書の検索
- 文書の取得
- 文書の表示
- 文書の印刷

どの Windows プラットフォームでも、基本作業は同じ方法で行うことができます。例えば、Windows Vista クライアントでのフォルダのオープンは、Windows XP クライアントの場合と同じ方法で行います。ただし、クライアント・プログラムの表示は同じであるとは限りません。ご使用のシステムでのクライアント・プログラムの表示は、この資料でのクライアント・プログラムの表示と若干異なる場合があります。

重要: *Windows* クライアント という用語は、Windows XP、Windows Vista、および Windows Server 2003 で稼働する OnDemand クライアント・プログラムを指します。*OnDemand* サーバー という用語は、次のプラットフォームの OnDemand を稼働しているシステムのことを指します。

- OnDemand for Multiplatforms
- OnDemand for z/OS® and OS/390®
- OnDemand for i5/OS®

1. 本書においては、文書 という用語は、ステートメント、ポリシー、あるいはその他の論理グループ・ページなどの、入力ファイルのセグメントを意味します。レポート は、OnDemand 内に保管される入力ファイルです。OnDemand では、10,000 ページの電話料請求書も 2 ページの Lotus® WordPro ファイルもどちらもレポートです。しかし一部のシステムでは、文書とレポートは同一のものを指す場合があります。

対象読者

OnDemand を使って文書の検索、取得、および表示を行う場合は、この資料を使用してください。本書は、OnDemand クライアントの基本機能を紹介します。本書に記載されている作業に関する詳細については、クライアントの使用時にオンライン・ヘルプを参照してください。オンライン・ヘルプには、クライアントで行うことのできるその他の事項に関する詳細も含まれています。

本書の使用方法

本書では、OnDemand クライアントの基本機能を紹介します。このクライアントを使用するためには、ご使用のパス制御 (PC) がネットワークを介して OnDemand サーバーと通信できなければなりません。ユーザーが必要な文書を保管するサーバーについては、OnDemand 管理者にお問い合わせください。OnDemand 管理者は、ユーザーの操作環境が正しいかどうかを検証し、OnDemand を使用する上で必要なその他の情報を確認してくれます。

操作環境について

本書では、Windows クライアントについて説明します。

OnDemand を最大限に活用するためには、最初に、使用するシステムをよく知っておく必要があります。本書は、ユーザーがシステム環境を十分理解していることを前提とし、それらのシステム固有の用語を使用します。ご使用のシステムに関しては、ご使用のシステムの資料およびオンライン・ヘルプを参照してください。

OnDemand での作業を始める前に

クライアントを開始し、文書の作業を開始する前に、以下のことを行うことをお勧めします。

- ご使用のシステムを十分理解し、ポインティング・デバイスの使用法に慣れる。
- OnDemand のワークスペースを理解する。OnDemand を開始すると、メインウィンドウが表示されます。メインウィンドウで、フォルダーのオープン、文書の検索、および文書の処理を行います。
- OnDemand に関連する用語については、67 ページの『用語集』を参照してください。
- OnDemand クライアント・プログラムのインストール。ハードウェアおよびソフトウェア要件ならびにクライアントのインストールの詳細については、5 ページの『第 2 章 要件』を参照してください。
- OnDemand サーバーの名前、および OnDemand のユーザー ID とパスワードの確認。
- ユーザーが必要とする文書が含まれているフォルダーの名前の確認。
- OnDemand プログラムの開始にとって最適な方法の判別。詳しくは、13 ページの『第 5 章 OnDemand クライアントの開始』を参照してください。

本書の構成

本書には以下の各セクションが含まれています。

- 5 ページの『第 2 章 要件』では、OnDemand クライアントについてのハードウェア、ソフトウェア、メモリー、ディスク・スペースの所要量、およびクライアントのインストール方法について説明します。
- 13 ページの『オプション: 始動パラメーターの指定』では、クライアントの開始時に指定できるパラメーターを示します。
- 19 ページの『第 7 章 サーバー情報の更新』では、クライアントに対してサーバーを識別する方法を説明します。

本書の追加情報の入手先

製品パッケージには、情報が完全なセットで含まれており、システムの計画、インストール、管理、および使用の際に役立ちます。すべての製品資料は、PDF 形式で提供されています。オペレーティング・システムに合った Adobe® Acrobat® Reader を使用して、PDF ファイルをオンラインで表示することができます。Acrobat Reader をまだインストールしていない場合は、Adobe Web サイト www.adobe.com からダウンロードできます。

製品資料は、OnDemand Web サイト (www.ibm.com/software/data/ondemand/) および IBM 資料オーダー・システム (www.ibm.com/shop/publications/order) から入手することもできます。

次の表に、プラットフォームごとの OnDemand 資料をリストします。

表 1. IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS and OS/390 バージョン 8 資料

資料名	資料番号
<i>Administration Guide</i>	SC19-1213
<i>Configuration Guide</i>	SC19-1212
<i>Indexing Reference</i>	SC19-1214
<i>Introduction and Planning Guide</i>	SC19-1217
メッセージとコード	SC88-9781
<i>Migration Guide</i>	SC19-1216
<i>OnDemand Distribution Facility Installation and Reference Guide</i>	GC19-1218
ユーザーズ・ガイド	SC88-8839
<i>Web Enablement Kit Implementation Guide</i>	SC19-1215
Windows クライアント・カスタマイズ・ガイド	SC88-8840

「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: Introduction and Planning Guide*」には、OnDemand ライブラリーの用語集が含まれています。「*IBM DB2 Content Manager OnDemand ユーザーズ・ガイド*」に掲載されているのは、OnDemand 管理者ではなく OnDemand ユーザーを対象とした、比較的小さな用語集です。「*IBM DB2 Content Manager OnDemand for z/OS: OnDemand Distribution Facility Installation and Reference Guide*」には、OnDemand Distribution Facility に特化した用語集が含まれています。

表 2. IBM DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms バージョン 8 資料

資料名	資料番号
管理ガイド	SD88-6411
索引付けリファレンス	SD88-6409
インストールと構成ガイド	SD88-6407
紹介および計画ガイド	GD88-6410
メッセージとコード	SC88-9781
レポート配布: インストール、使用およびリファレンス	SD88-6408
ユーザーズ・ガイド	SC88-8839
Web イネーブルメント・キット インプリメンテーション・ガイド	SD88-6406
Windows クライアント・カスタマイズ・ガイド	SC88-8840

「IBM DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms 紹介および計画のガイド」には、OnDemand ライブラリーの用語集が含まれています。「IBM DB2 Content Manager OnDemand ユーザーズ・ガイド」に掲載されているのは、OnDemand 管理者ではなく OnDemand ユーザーを対象とした、比較的小さな用語集です。「IBM DB2 Content Manager OnDemand for Multiplatforms レポート配布: インストール、使用およびリファレンス」には、特に OnDemand レポート配布機能に関する用語集が含まれています。

表 3. IBM DB2 Content Manager OnDemand for i5/OS Common Server バージョン 5 資料

資料名	資料番号
管理ガイド	SD88-5029
Common Server 管理ガイド	SC88-4011
Common Server 索引付けリファレンス	SC88-4010
Common Server 計画とインストール	SC88-4008
Common Server Web Enablement Kit インストールおよび構成ガイド	SC88-4013
導入の手引き	SD88-5070
メッセージとコード	SC88-9781
ユーザーズ・ガイド	SC88-8839
Windows クライアント・カスタマイズ・ガイド	SC88-8840

OnDemand のアクセシビリティ情報

本製品でサポートされるアクセシビリティ機能の詳細情報は、「OnDemand 管理ガイド」を参照してください。

Web から入手可能なサポート

IBM では、最新の製品情報をオンラインで提供しています。よくある質問、ヒント、および技術情報については、以下のプラットフォーム固有 Web サイトの 1 つからサポート・リンクをたどってください。

- Multiplatforms: <http://www.ibm.com/software/data/ondemand/mp/>
- i5/OS: <http://www.ibm.com/software/data/ondemand/400/>
- z/OS と OS/390: <http://www-306.ibm.com/software/data/ondemand/390/>

教育研修

IBM では、OnDemand 管理者を対象としたいくつかの研修を開催しています。コースの説明および価格については、以下のプラットフォーム固有 Web サイトの 1 つからトレーニングおよび認証リンクをたどってください。

- Multiplatforms: <http://www.ibm.com/software/data/ondemand/mp/>
- i5/OS: <http://www.ibm.com/software/data/ondemand/400/>
- z/OS と OS/390: <http://www-306.ibm.com/software/data/ondemand/390/>

マニュアル・出版物に関するご意見・ご質問

マニュアル・出版物に関するご意見・ご質問は、次の URL からお送りください。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

変更の要約

この資料には、「IBM DB2 Content Manager OnDemand ユーザーズ・ガイド」(SC88-8839-04) に掲載済みの情報に関する、補足説明および変更点が記載されています。技術的な補足説明および変更箇所については、左マージンにリビジョン・バー (l) のマークが付けられています。

以下の情報は、新たに追加されたもの、または更新されたものになります。

- OnDemand クライアントは、Windows XP、Windows Vista、または Windows Server 2003 をサポートしています。詳しくは、5 ページの『ソフトウェア要件』を参照してください。
- 各コマンドのショートカットを作成する方法については、45 ページの『第 11 章 コマンド用のショートカットの作成』で説明しています。
- 大きな PDF 文書が一部しか見られない場合に取りべきアクションを説明した、新しいトラブルシューティング・シナリオを追加しました。詳しくは、56 ページの『トラブルシューティング・シナリオ 5: 大きな文書を表示すると PDF がブランク・ページを表示する』を参照してください。
- 行データが小さく印刷されてしまった場合に取りべきアクションを説明する、新たなトラブルシューティング・シナリオを追加しました。詳しくは、57 ページの『トラブルシューティング・シナリオ 7: 印刷された行データが非常に小さい』を参照してください。
- 先行入力検索を使用すればフォルダーを素早く見つけることができます。詳しくは、25 ページの『第 8 章 フォルダーのオープン』を参照してください。

- OnDemand for OS/390 Version 2.1 サーバーは、サポートされなくなりました。
このサーバーで作動する OnDemand クライアントの構成についての情報は、付録に移動しました。詳しくは、59 ページの『OnDemand for OS/390 Version 2.1 サーバーにアクセスするための OnDemand クライアントの構成』を参照してください。

第 1 章 概要

Content Manager OnDemand

OnDemand をお買い上げいただきありがとうございます。この製品は、情報管理の支援を目的として設計されたシステムです。OnDemand は文書の電子アーカイブを管理し、文書を検索し、取り出します。OnDemand クライアント・プログラムを使用すると、文書の表示や、文書のコピーの送信、ファックス送信、および印刷を行うことができ、また、文書に電子的な注釈を付けることができます。

OnDemand は、ハードコピーやマイクロフィッシュの置換作業や情報への迅速なアクセスを必要とする、プロセスおよび組織のために役立ちます。OnDemand システムは、小規模なオフィス環境でも、何百というシステム・ユーザーを有する大企業のインストール・システムでも利用できます。OnDemand をインストールすると、システムに格納されている情報に素早くアクセスできるようになるため、ほとんどの業務における生産性と顧客サービスを飛躍的に向上させることができます。

OnDemand は、アプリケーション・プログラムの印刷出力の処理、データからの索引フィールドの抽出、リレーショナル・データベースへの索引情報の保管、およびシステムへの 1 つまたは複数のコピーの保管を行います。OnDemand が索引情報を保管するリレーショナル・データベースの一例として、IBM DB2 Universal Database™ (DB2) があります。OnDemand があれば、新規に作成し、頻繁にアクセスする文書を高速ディスク装置のボリュームにアーカイブできます。また、経過日数にしたがって、文書を別の種類のストレージ・ボリュームに自動的にマイグレーションすることもできます。

OnDemand には以下の機能が備わっています。

- リソース、索引、注釈の管理を含む AFP™ (Advanced Function Presentation™) の諸機能を完全に統合しています。
- ワークステーション、OnDemand サーバー、またはネットワーク上の別のサーバーに接続されている装置上での、文書の高精度な再印刷やファックス送信をサポートします。
- アプリケーション・プログラムによって作成されたデータを、オンラインの電子情報アーカイブおよび検索システムに統合します。
- 組織内で作成されたすべてのレポートに制御された方法で確実にアクセスできるようにします。
- 必要なときに必要なデータを取り出します。
- サムネイル、ブックマーク、注釈、ショートカットなどの機能を備えた直観的な標準クライアントを提供します。

管理者は、OnDemand を使用して次のタスクを完了することができます。

- OnDemand サーバーの管理。
- ユーザーに対する OnDemand サーバーとシステムに保管されたデータへのアクセスの許可。

- データベースとデータ・ストレージのバックアップ。

OnDemand のこれらの機能を使用すると、レポートの特定のページを素早く検索できるので、結果として、素早くカスタマー・サービスを提供することができます。

従来のデータ・アーカイブ・システムやデータ検索システムより優れた特徴として、OnDemand には次のような機能があります。

- レポート全体を処理せずに、レポートから必要なページを検索する機能
- レポートを厳密に指定せずにデータを簡単に見つける機能
- レポート内から選択したデータを表示する機能

OnDemand には、ユーザー用に顧客処理の効率を上げる情報管理ツールが備えられています。

OnDemand システム

OnDemand システムには以下のコンポーネントが含まれます。

- ネットワークを介して通信するクライアント・プログラムおよびサーバー・プログラム
- 中央データベースおよびデータベース・マネージャー・プログラム
- システムに保管されているレポートを収容する各種のストレージ・デバイスをサポートするストレージ・マネージャー

クライアント・プログラムは、OnDemand に保管されている文書にアクセスするためのユーザー側の入り口です。クライアント・プログラムから次のタスクを完了することができます。

- クエリーの組み立てと文書の検索。
- OnDemand からのアイテムの検索。
- 文書のコピーの表示、印刷、ファックス送信。
- 文書に電子的な注を付加。

OnDemand サーバーは、制御情報や索引データを管理します。レポート、リソース、文書の保管と取り出しを行い、OnDemand クライアント・プログラムからの照会要求を処理します。OnDemand サーバーは、システムのユーザーと、システムに保管されているレポートに関する情報のデータベースを管理します。OnDemand サーバーは、ディスク装置、光ディスク装置、磁気テープ・ストレージ・デバイスの各装置上の文書を管理します。OnDemand サーバーは、別々の物理システムに常駐させることもできます。

文書が検索されると、OnDemand クライアントは OnDemand サーバーに検索要求を送ります。OnDemand サーバーは、検索要求に適合する文書のリストを戻します。表示する文書が選択されると、OnDemand クライアントはその文書が保管されているサーバーから文書のコピーを取り出し、表示ウィンドウを開いて、文書を表示します。

OnDemand 文書

OnDemand 文書は、索引が付けられたページ・グループです。通常、OnDemand 文書は、数千枚の明細書を含むレポートの中の個々のカスタマー用明細書などのように、もっと大きなレポートの論理的なセクションになっています。OnDemand 文書はそれよりも大きいレポートの一部となることもあります。取引ログのような論理的なページ・グループを持たないレポートの場合、OnDemand がレポートをいくつかのページのグループに分割することもできます。このページ・グループには個別に索引が付けられるため、クライアントによるページ・グループの検索は、レポート全体の検索よりもはるかに効率よく実行することができます。

OnDemand フォルダー

OnDemand 管理者は、フォルダーと呼ばれる関連集合内に情報を保管します。フォルダーは、明細書、送り状、あるいは通信文などの関連情報のためのコンテナと考えてください。金属性のファイリング・キャビネット内で使用されるマニラ・フォルダーのようなものです。フォルダーを開くと、フォルダー内に含まれている情報にアクセスすることができます。例えば、請求書フォルダーには過去 2 年間にわたるカスタマー取引に関するレポートが入っています。フォルダーは、顧客明細書などの名称によって識別されます。

ヘルプの表示

タスク・ヘルプの表示

OnDemand のすべてのタスクに関するオンライン・ヘルプは、タスクごとに編成されています。手順は、タスクを完了させるのに役立つように、迅速かつ段階的な指示を行います。タスク・ヘルプを入手するには、「ヘルプ」メニューから「使用法 (How Do I)」を選択します。

Windows に関するヘルプの表示

すべての OnDemand ウィンドウおよびウィンドウに関してオンライン・ヘルプを利用することができます。ウィンドウ・ヘルプは、ウィンドウの目的、ならびにウィンドウに含まれるフィールド、オプション、およびコマンドの目的に関する詳細情報を提供します。ウィンドウ・ヘルプを利用するには、そのウィンドウがアクティブのときに「ヘルプ」ボタンをクリックします。

メニュー・コマンドに関するヘルプの表示

「OnDemand」メニューの全コマンドに関してオンライン・ヘルプを利用することができます。コマンド・ヘルプは、コマンドに関する簡単な説明を提供します。コマンド・ヘルプを利用するには、最初にコマンドを選択し、次に F1 キーを押します。

ヘルプ索引の使用

OnDemand のオンライン・ヘルプの「索引」タブをクリックすると、キーワード・リストが表示されます。用語またはサブジェクトを入力します。その用語がリスト

中にある場合は、索引がそのキーワードまでスクロールします。キーワードをダブルクリックすると、「ヘルプ」トピックまたは選択を行うことのできるトピック群が表示されます。

第 2 章 要件

このセクションでは、OnDemand クライアントのインストールと使用に関するハードウェア、ソフトウェア、メモリー、およびディスク・スペースの所要量について説明します。

ハードウェア要件

OnDemand クライアントは次のハードウェアを必要とします。

- Intel® Pentium® II 350 MHz 以上のプロセッサ
- 64 MB の RAM、および PDF 文書の表示用に追加の 8 MB の RAM
- 文書の表示および印刷に十分な一時スペース
- 100 MB の空きハード・ディスク・スペース
- 800x600 以上の解像度の SVGA ディスプレイおよびアダプター
- トークンリングやイーサネット・ネットワーク・アダプターなどの、ネットワークへの物理接続
- ネットワーク・ファイル・サーバーから OnDemand クライアントをインストールする予定の場合: インストール用の CD-ROM ドライブ

ソフトウェア要件

OnDemand クライアントをインストールして使用するには、Windows XP または Windows Vista をワークステーション にインストールして、稼働させる必要があります。OnDemand クライアントを CD-ROM からインストールするには、CD-ROM ドライバーをワークステーションにインストールする必要があります。OnDemand クライアントをネットワーク・ファイル・サーバーからインストールするには、適切なネットワーク・ソフトウェアがワークステーション上で稼働している必要があります。OnDemand サーバーに接続するためには、Windows 2000、Windows XP、または Windows Server 2003 の標準 TCP/IP サポートが、ご使用のワークステーション上で稼働していなければなりません。

Adobe ソフトウェアについて

OnDemand に保管されている Adobe Portable Document Format (PDF) 文書を表示するには、Adobe Acrobat PDF 表示ソフトウェアが必要です。(OnDemand では、Adobe Acrobat または Adobe Reader のソフトウェアを使用することができます。その他の Adobe 製 PDF 表示用アプリケーションは、サポート対象外です。) Windows クライアントで PDF 文書を表示するには、Adobe Acrobat を使用してください。Adobe Acrobat は、Adobe 社より購入する必要があります。Adobe Acrobat PDF 表示ソフトウェアは、ワークステーションに OnDemand クライアント・ソフトウェアをインストールする前にインストールしてください。

重要: OnDemand は、クライアントから PDF を見ることを可能にする、ARSPDF32.API ファイルを提供しています。Adobe Acrobat をインストールした後でクライアントをインストールすると、インストール・プログラムにより API ファイ

ルが Acrobat のプラグイン・ディレクトリーにコピーされます。 Adobe Acrobat をインストールする前にクライアントをインストールした場合には、API ファイルを Acrobat のプラグイン・ディレクトリーにコピーしなければなりません。また、 Acrobat の新しいバージョンにアップグレードする場合にも、API ファイルを新しい Acrobat のプラグイン・ディレクトリーにコピーする必要があります。 API ファイルは、デフォルトでは ¥Program Files¥IBM¥OnDemand32¥PDF に入っています。デフォルトの Acrobat プラグイン・ディレクトリーは、 ¥Program Files¥Adobe ¥Acrobat x.y¥Acrobat¥Plug_ins です。ここで、 x.y は Acrobat のバージョン (例: 4.0、 5.0 など) です。

メモリー

OnDemand クライアントは最低 64 MB のメモリーを必要とします。一度に複数の文書进行处理することを計画している場合、ワークステーションはより多くのメモリーを必要とします。一度に複数のプログラムを実行する場合にも、さらに多くのメモリーが必要となります。

ディスク・スペース

OnDemand クライアントのインストール時、ディスク・スペースの所要量はユーザーが選択する機能によって変わります。

OnDemand のすべての機能をインストールするためには、 55 MB 以上の使用可能ディスク・スペースが必要です。使用するディスク・スペースが 55 MB 未満の場合には、 Setup の「インストールのコンポーネントとサブコンポーネント (Installation Components and Subcomponents)」オプションを使用して必要な機能のみを選択します。

一時ファイルのためのスペースの割り当ても計画する必要があります。 IBM では、一時ファイル用に 50 MB の使用可能ディスク・スペースを確保することをお勧めしています。

各 OnDemand 機能に関するディスク・スペースの所要量の詳細については、 CD-ROM からセットアップを開始するか、以下のセットアップのステップに従ってください。

1. CD-ROM を該当するドライブに挿入します。
2. Windows のタスクバーから「スタート」をクリックし、「ファイル名を指定して実行」を選択します。
3. x:¥client¥windows¥win32¥setup (x は、ご使用の CD-ROM ドライブを表すアルファベット) を入力します。
4. 「セットアップ・タイプと作業ディレクトリー (Setup Type and Working Directory)」ウィンドウで、「カスタム」を選択します。
5. 「インストールのコンポーネントとサブコンポーネント (Installation Components and Subcomponents)」ウィンドウで、各コンポーネントを個々に選択し、「変更 (Change)」をクリックすると、具体的な機能およびディスク・スペースの所要量をすべて表示することができます。

第 3 章 Windows へのクライアントのインストール

OnDemand クライアント・ソフトウェアの入手方法

最新の OnDemand クライアント・インストール・ファイルは、
ftp://service.software.ibm.com/software/ondemand/fixes にある Web 上の IBM
サービスから入手してください。Web からクライアント・インストール・ファイ
ルをダウンロードする方法については、11 ページの『第 4 章 クライアント・ソフ
トウェアの更新』を参照してください。

Windows へのクライアントのインストール

CD-ROM を使用して OnDemand をインストールする場合は、従来の方法でインス
トールすることができます。

OnDemand 機能のすべてを一度にインストールすることも、あるいは必要時に個々
の機能をインストールすることもできます。

ユーザーのワークステーションへのクライアントのインストール

CD-ROM からインストールする場合、またはネットワーク・ファイル・サーバーから
インストールする場合は、次の手順で行います。

1. CD-ROM を適切なドライブに挿入するか、OnDemand クライアント・ソフトウ
ェアが格納されているネットワーク・ドライブのドライブ名を入手します。
2. Windows のタスクバーから「スタート」をクリックし、「ファイル名を指定し
て実行」を選択します。
3. 次のように入力します。

```
x:%client%windows%win32%setup
```

(x は、ご使用の CD-ROM ドライブまたはネットワーク・ドライブを表す)

4. 「OK」をクリックします。
5. Setup プログラムが開始したら、「次へ」をクリックして続けます。Setup プロ
グラムは、OnDemand クライアント・ファイルを CD-ROM からご使用のワーク
ステーションに転送します。
6. 「セットアップ・タイプと作業ディレクトリー (Setup Type and Working
Directory)」ウィンドウでインストールの種類を選択します。
 - 「標準」を選択すると、OnDemand クライアントのコピーがご使用のハード・
ディスクにインストールされます。Setup プログラムは、「コンパクト」また
は「カスタム」オプションが選択されない限り、デフォルトによって標準イン
ストールを実行します。
 - 「コンパクト」を選択すると、ネットワーク・ファイル・サーバー上の共用の
場所から、あるいは プロダクト CD-ROM から OnDemand クライアントのコ
ピーを実行するようにワークステーションが構成されます。「コンパクト」を

選択した後、ネットワーク・ファイル・サーバー (またはプロダクト CD-ROM) 上の OnDemand クライアント・プログラム・ファイルの絶対パスを指定する必要があります。

- 「カスタム」を選択すると、ワークステーションにインストールするコンポーネントを選択することができます。以下の場合には「カスタム」を選択しなければなりません。
 - ワークステーション上に管理クライアントをインストールする。
 - OnDemand クライアントをワークステーション上で設定されているデフォルト言語以外の言語でインストールする。
 - Sonoran フォントをワークステーション上にインストールする。
- 7. 宛先フォルダー (Destination Folder) はインストール・ドライブとディレクトリを示します。「参照」をクリックして、ファイルを別のハード・ディスクまたは別のディレクトリにインストールします。
- 8. 画面の指示に従って、インストールを完了させます。

ネットワーク・ファイル・サーバーへのインストール

OnDemand は、下記のとおり、配布 インストールと複数ユーザー・インストールもサポートしています。

- 配布インストールを使用して、OnDemand クライアント・ソフトウェアを CD-ROM からネットワーク・ファイル・サーバー上の共用の場所にコピーします。ソフトウェアをサーバーにコピーした後、他のユーザーは続いて標準、ノード、およびカスタム・インストールをサーバーから実行することができます。
- 複数ユーザー・インストールを使用して、OnDemand クライアントをネットワーク・ファイル・サーバー上の共用の場所にインストールします。クライアントをサーバー上にインストールした後、他のユーザーは以降の標準およびカスタム・インストールをサーバーから実行することができます。

配布インストールおよび複数ユーザー・インストールの詳細については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand Windows クライアント・カスタマイズ・ガイド*」を参照してください。

自動インストールの実行

自動インストールを用いて、管理者は組織内の全ユーザーのために OnDemand インストールを標準化することができます。また、各ユーザーが自分のワークステーションのそばにいても管理者は OnDemand クライアントをインストールすることもできます。自動インストールの詳細については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand Windows クライアント・カスタマイズ・ガイド*」を参照してください。

ユーザー定義ファイルのインストール

管理者はユーザー定義ファイルを、ネットワーク・ファイル・サーバー上の OnDemand インストール・ディレクトリ・ツリー内に保管することができます。そこに保管されているユーザー定義ファイルはすべて、ユーザーがサーバーから Setup プログラムを実行したときに、ワークステーションにコピーされます。ユーザー定義ファイルのインストールの詳細については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand Windows クライアント・カスタマイズ・ガイド*」を参照してください。

AFP フォントのマッピング

AFP 文書を表示するためには、文書の作成時に使用した AFP フォントを、ワークステーション上で表示可能なフォントにマッピングしなければならない場合があります。このようにして、OnDemand は文書およびフォントを正しく表示することができます。文書が以下のものを使用している場合には、フォントをフォント定義ファイル内で定義する必要があります。

- OnDemand に定義されていない AFP フォント
- ユーザーあるいはユーザーの組織内の別のユーザーによって変更が加えられている IBM AFP フォント
- ユーザーあるいはユーザーの組織内の別のユーザーが作成した AFP フォント

AFP フォントのマッピングの詳細については、「*IBM DB2 Content Manager OnDemand Windows クライアント・カスタマイズ・ガイド*」を参照してください。

第 4 章 クライアント・ソフトウェアの更新

注: クライアントのアップグレード時には、Setup プログラムが自動的に古いファイルを新しいファイルに置き換えます。ユーザーがコンポーネントを追加したり除去したりすることはできません。コンポーネントを追加または除去するには、クライアントのアップグレードが正常に終了した後で、Setup プログラムを実行する必要があります。

以下の情報を使用して、WWW 上の IBM サービスより最新版の OnDemand クライアント・ソフトウェアを入手し、インストールすることができます。

最新版のクライアント・ソフトウェアを入手するには、次のようにします。

1. ブラウザーで、次の FTP サイトにアクセスします。

```
ftp://service.software.ibm.com/software/ondemand/fixes
```

ご使用のクライアント用の最新の PTF までリンクをたどって行きます。

2. アップグレードするクライアント用の ZIP ファイルをクリックします。例えば、次のファイルです。

```
odwin32.zip
```

3. ディスクへのファイルの保管を選択します。
4. 場所を選択し、ファイルを保管します。

ダウンロードが完了したら、クライアント・ソフトウェアの配布方法に応じて、ZIP ファイルを解凍するか、または ZIP ファイルを共用の場所に保管します。

- ZIP ファイルを一時ディレクトリーに解凍した後で、Setup プログラムを実行してワークステーション上のクライアントをアップグレードすることができます。クライアントのインストールが完了した後で、一時ディレクトリーと ZIP ファイルを削除することができます。
- 管理者は、他のユーザーが利用できるように、ZIP ファイルを共用の場所に保管することができます。
- 管理者は、他のユーザーが共用の場所から Setup プログラムを実行できるように、ZIP ファイルを共用の場所に解凍することができます。
- ネットワーク・サーバーから OnDemand クライアント・ソフトウェアのコピーを共用する場合は、管理者がサーバー上で ZIP ファイルを解凍し、Setup プログラムを実行して、クライアントをサーバー上でアップグレードしてもかまいません。
- OnDemand クライアントと共にユーザー定義ファイルを配布する場合は、管理者が ZIP ファイルを共用の場所で解凍した後、その場所へユーザー定義ファイルをコピーする必要があります。その後ユーザーは、その共用の場所から Setup プログラムを実行して、自分のワークステーション上でクライアント・ソフトウェアおよびユーザー定義ファイルをアップグレードすることができます。

第 5 章 OnDemand クライアントの開始

重要: 使用しているシステムを、OnDemand クライアントを自動的に開始するように構成することもできます。例えば、カスタマーによっては、ユーザーがシステムを開始した後に、クライアントが「サーバーへのログオン」ウィンドウを開くようにシステムを構成する場合があります。クライアントを開始する必要のない場合には、このセクションを飛ばして 17 ページの『第 6 章 サーバーへのログオン』に進んでください。

OnDemand クライアントを開始するにはいくつかの方法があります。最も一般的な方法を、以下にいくつか示します。

- 15 ページの『デスクトップからの開始』
- 15 ページの『「スタート」メニューからの開始』
- 15 ページの『「ファイル名を指定して実行」ウィンドウからの開始』

オプション: 始動パラメーターの指定

OnDemand は、クライアント・プログラムを開始するためのプロパティ属性として、ユーザーが指定することのできるパラメーターを提供します。パラメーターを利用して、ログオン・プロセスを自動化したり、クライアントのその他のプロパティを構成することができます。表 4 に、クライアント・プログラムで最もよく使われるパラメーターを示します。

参照: 「*IBM DB2 Content Manager OnDemand Windows クライアント・カスタマイズ・ガイド*」に、クライアントの開始時に指定できるすべてのパラメーターが記載されています。

表 4. クライアント・プログラム・パラメーター

パラメーター	目的	例
/F <i>folder</i>	開くフォルダーを指定します。/P、/S、および /U の各パラメーターを指定すると、自動的にサーバーにログオンし、指定されたフォルダーに関する「検索基準と文書リスト」ウィンドウを表示します。指定されたフォルダーがサーバー上で検出されない場合、OnDemand は「フォルダーを開く」ウィンドウを表示します。	/F Student Information

表 4. クライアント・プログラム・パラメーター (続き)

パラメーター	目的	例
/P <i>password</i>	/U パラメーターによって識別されたユーザー ID 用のパスワード。/S および /U パラメーターとともに使用すると、「サーバーへのログオン」ウィンドウを表示せずにサーバーにログオンします。ログオンが正常に行われなかった場合、OnDemand は「サーバーへのログオン」ウィンドウを表示して、ユーザーがサーバーにログオンできるようにします。	/P xxxxxxxx
/S <i>server</i>	OnDemand サーバーを指定します。/P および /U パラメーターとともに使用すると、「サーバーへのログオン」ウィンドウを表示せずにサーバーにログオンします。ログオンが正常に行われなかった場合、OnDemand は「サーバーへのログオン」ウィンドウを表示して、ユーザーがサーバーにログオンできるようにします。	/S peluchage
/U <i>userid</i>	OnDemand ユーザー ID を指定します。/P および /S パラメーターとともに使用すると、「サーバーへのログオン」ウィンドウを表示せずにサーバーにログオンします。ログオンが正常に行われなかった場合、OnDemand は「サーバーへのログオン」ウィンドウを表示して、ユーザーがサーバーにログオンできるようにします。	/U csr0008

パラメーターの指定

クライアント・プログラムにパラメーターを指定する場合、以下の手順で行います。

1. OnDemand クライアント・プログラムのショートカットを、デスクトップ、「スタート」メニュー、または OnDemand プログラム・フォルダーまたはグループ内で見つけます。
2. プログラムの「プロパティ」ウィンドウを開きます。
3. 「ターゲット (Target)」フィールドに、使用したいパラメーターを入力します。

重要: パラメーターは必ず、言語の DLL (ダイナミック・リンク・ライブラリ) のパス名の後に入力してください。分からないことがある場合は、OnDemand 管理者に問い合わせてください。
以下はその一例です。

```
"C:\Program Files\IBM\OnDemand32\ARSGUI32.EXE"  
/1 C:\Program Files\IBM\OnDemand32\LOCALE\ENU  
/S peluchage /U csr0008 /P XXXXXXXX /F Student Information
```

この例では、/S、/U、/P、および /F パラメーターが「ターゲット (Target)」フィールドに追加されます。

4. 「OK」をクリックして変更を保管します。

デスクトップからの開始

OnDemand クライアントをデスクトップから開始するには、以下のステップに従います。

1. デスクトップ上で OnDemand アイコンを探します。
2. OnDemand アイコンをダブルクリックして、「サーバーへのログオン」ウィンドウを開きます。

OnDemand は、サーバーとの通信を開始するために特定の情報を知る必要があります。OnDemand は、この情報を「サーバーへのログオン」ウィンドウから収集します。ログオンの詳細については、17 ページの『第 6 章 サーバーへのログオン』を参照してください。

「スタート」メニューからの開始

OnDemand Windows クライアントを「スタート」メニューから開始するには、「スタート」→「プログラム (Programs)」→「IBM OnDemand32」と選択してクライアントを開始し、「サーバーへのログオン」ウィンドウを開きます。

OnDemand は、サーバーとの通信を開始するために特定の情報を知る必要があります。OnDemand は、この情報を「サーバーへのログオン」ウィンドウから収集します。ログオンの詳細については、17 ページの『第 6 章 サーバーへのログオン』を参照してください。

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウからの開始

「ファイル名を指定して実行」ウィンドウから OnDemand Windows クライアントを開始する場合は、以下の手順に従ってください。

1. 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」と選択し、「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開きます。
2. OnDemand クライアント・プログラムの絶対パス名 (ドライブとフォルダー、その後ろに arsgui32.exe、ならびにオプションの言語およびその他の始動パラメーター) を入力します。パスが分からない場合は、「参照」をクリックしてそこから選択します。

3. 「**OK**」をクリックします。Windows が「ファイル名を指定して実行」ウィンドウをクローズします。OnDemand が開始し、「サーバーへのログオン」ウィンドウが開かれます。

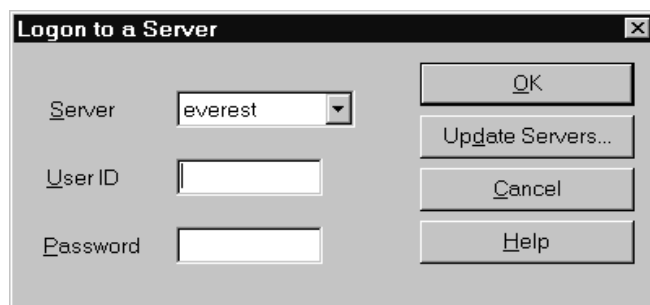
OnDemand は、サーバーとの通信を開始するために特定の情報を知る必要があります。OnDemand は、この情報を「サーバーへのログオン」ウィンドウから収集します。ログオンの詳細については、17 ページの『第 6 章 サーバーへのログオン』を参照してください。

第 6 章 サーバーへのログオン

重要: 使用しているシステムを特定の OnDemand サーバーに自動的にログオンするように構成することもできます。例えば、カスタマーによっては、ユーザーがクライアントを開始した後に、クライアントが「フォルダーを開く」ウィンドウを開くようにシステムを構成する場合があります。サーバーにログオンする必要がない場合は、このセクションを飛ばして 25 ページの『第 8 章 フォルダのオープン』に進んでください。

OnDemand サーバーにログオンするには、以下のステップに従ってください。

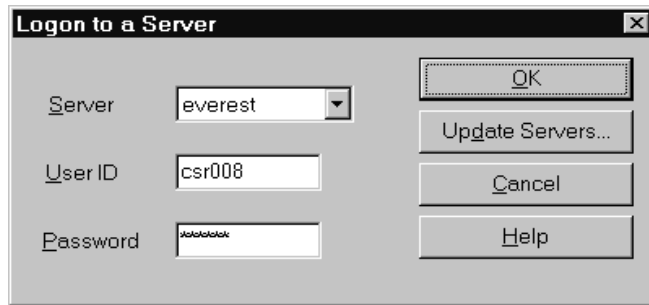
1. **OnDemand のワークスペース内で「サーバーへのログオン」がアクティブになっていない場合:** 「ファイル」メニューから「ログオン」を選択して、「サーバーへのログオン」ウィンドウを開きます。



2. OnDemand 管理者が OnDemand サーバーの名前を指定してクライアントを構成している場合、「サーバー」フィールドにそのサーバー名が表示されます。(管理者がいくつかのサーバーの名前を指定してクライアントを構成している場合は、それらのサーバー名がすべてリストに表示されます。リストからサーバー名を選択してください。)

リストにサーバーがまったく表示されない場合、あるいはログオンする必要のあるサーバーの名前がリストにない場合は、「サーバーの更新」をクリックすると、「サーバーの更新」ウィンドウが開かれます。リストにサーバーを追加する方法については、19 ページの『第 7 章 サーバー情報の更新』を参照してください。

3. 使用している OnDemand ユーザー ID とパスワードを提供されているスペースに入力します。以下に例を示します。



4. 「**OK**」をクリックしてサーバーにログオンします。OnDemand は、サーバーで使用している OnDemand ユーザー ID とパスワードを検証します。OnDemand のユーザー ID とパスワードが確認されると、OnDemand が「フォルダーを開く」ウィンドウを開きます。フォルダーのオープンについては、25 ページの『第 8 章 フォルダのオープン』を参照してください。

第 7 章 サーバー情報の更新

このセクションでは、クライアントからアクセスできるサーバーの追加、更新、および削除方法について説明します。サーバー情報の更新作業に入る前に、クライアントからアクセスできるサーバーに関して次のような情報を OnDemand 管理者に問い合わせてください。

- サーバーのタイプ
- 通信プロトコル
- OnDemand サーバーの作業に必要なその他の詳細情報

「サーバーへのログオン」ウィンドウから「サーバーの更新」コマンドを使用して次のことを行います。

- ユーザーがアクセス可能なサーバーのリストへのサーバーの追加
- アクセス可能なサーバーに関する情報の変更
- アクセス可能なサーバーのリストからのサーバーの削除

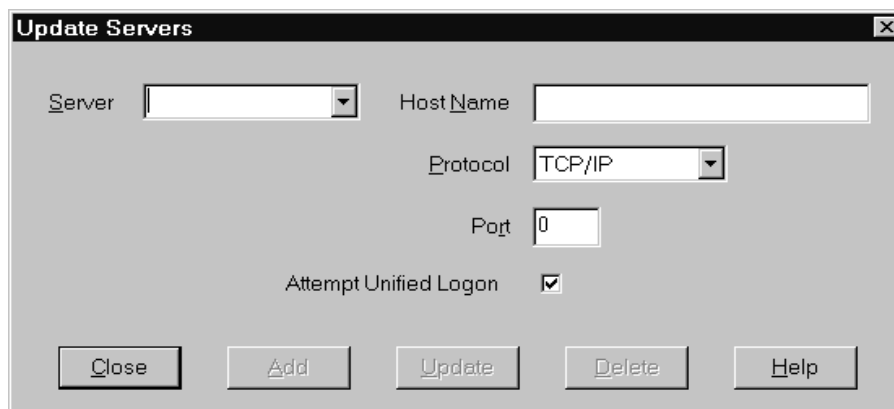
TCP/IP サーバーおよびローカル・サーバーに関する情報を変更することができます。

OnDemand を初めて開始したときは、「サーバーへのログオン」ウィンドウの「サーバー」フィールドに、項目が何も入っていない場合があります。使用可能なサーバーについては、OnDemand 管理者に確認してください。

TCP/IP サーバーに関する情報の更新

TCP/IP サーバーの追加

1. 「サーバーへのログオン」ウィンドウで「サーバーの更新」をクリックし、「サーバーの更新」ウィンドウを開きます。以下に例を示します。



2. 使用可能なサーバーのリストにサーバーの名前を追加するには、「サーバー」フィールドに OnDemand ライブラリー・サーバーの名前を入力します。サーバーの名前は、TCP/IP ホスト名の別名、完全修飾ホスト名、または IP アドレスにすることができます。
3. **オプション:** 「ホスト名」フィールドに OnDemand ライブラリー・サーバーの TCP/IP ホスト名の別名、完全修飾ホスト名、または IP アドレスを入力します。デフォルトでは、「ホスト名」フィールドと「サーバー」フィールドの値は同じです。ホスト名を変更する特別な理由がない限り、提供されているデフォルト値を使用することをお勧めします。
4. 「プロトコル」リストから、「TCP/IP」を選択します (まだ選択されていない場合)。
5. 「ポート」を検証します。これは、クライアントとサーバーが通信に使用する、TCP/IP ポート番号です。

デフォルト値である 0 (ゼロ) は、OnDemand が OnDemand サービスのポート番号を使用することを意味します。ポートを変更する特別な理由がない限り、提供されているデフォルト値を使用することをお勧めします。詳細については、管理者に問い合わせてください。

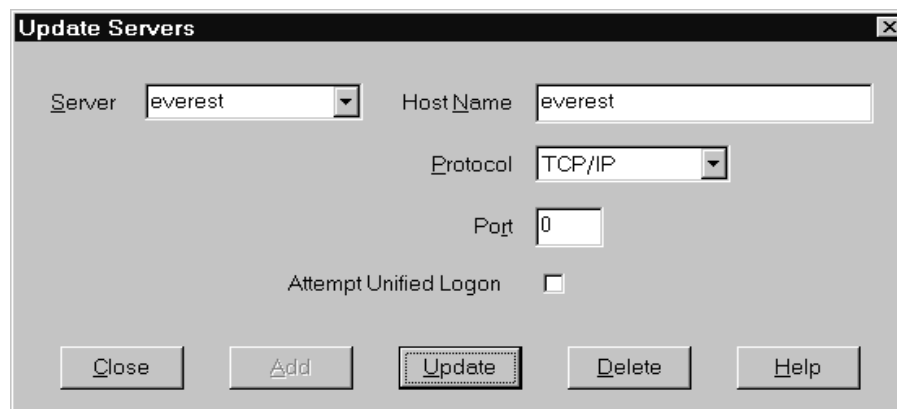
6. 追加しようとしているサーバーが Windows で稼働する場合は、「**統合ログオンの試行**」を選択します。そうでない場合は、「**統合ログオンの試行**」チェック・ボックスをクリアします。
7. 完了したら、「**追加**」をクリックします。

サーバーの追加を希望しない場合は、「**追加**」の代わりに「**閉じる**」をクリックして、「サーバーへのログオン」ウィンドウに戻ります。

8. 「**閉じる**」をクリックして「サーバーの更新」ウィンドウをクローズすると、「サーバーへのログオン」ウィンドウに戻ります。

TCP/IP サーバーの変更

1. 「サーバーへのログオン」ウィンドウで「**サーバーの更新**」をクリックし、「サーバーの更新」ウィンドウを開きます。以下に例を示します。



2. 「サーバー」リストからサーバー名を選択します。
3. 変更を行います。

- 完了したら、「更新」をクリックします。

変更を行いたくない場合には、「更新」の代わりに「閉じる」をクリックして、変更を行わずに「サーバーへのログオン」ウィンドウに戻ります。

- 作業を行っているサーバーに関する変更を終了したら、「閉じる」をクリックすると、「サーバーへのログオン」ウィンドウに戻ります。

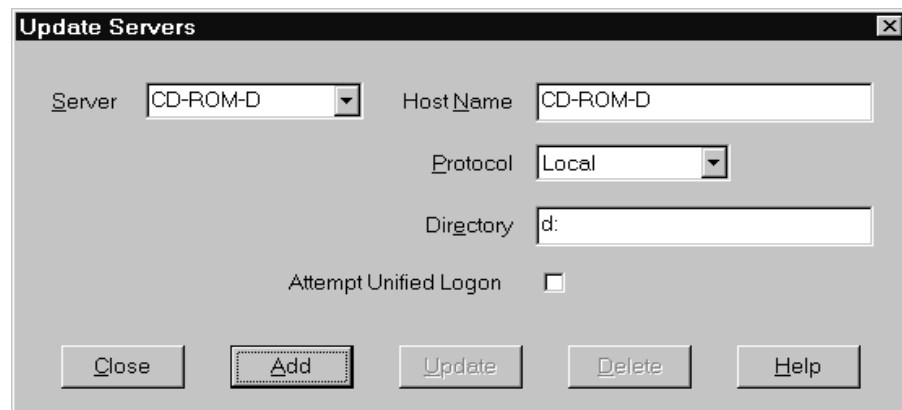
ローカル・サーバーに関する情報の更新

ローカル・サーバーには 3 種類あります。

- CD-ROM
- ネットワーク
- ハード・ディスク

CD-ROM サーバーの追加

- 「サーバーへのログオン」ウィンドウで「サーバーの更新」をクリックし、「サーバーの更新」ウィンドウを開きます。以下に例を示します。



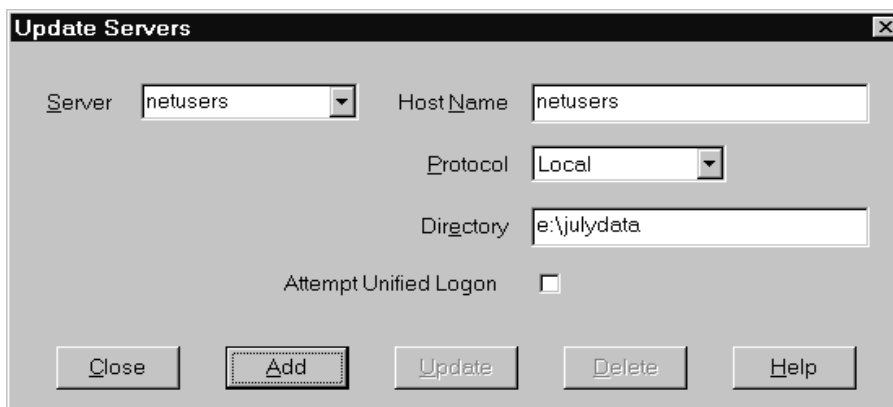
- 「サーバー」フィールドにサーバーの名前を入力します。例えば、ご使用の CD-ROM のドライブ名が D: の場合には、サーバー *CD-ROM-D* という名前を指定することができます。複数の CD-ROM ドライブが装備されている場合、OnDemand は、この名前を使用してサーバーを含む CD-ROM ドライブを選択します。
- 「プロトコル」リストから、「ローカル」を選択します。
- 「ディレクトリー」フィールドに、CD-ROM に関連付けられているドライブ名 (d: など) を入力します。
- 「統合ログオンの試行」チェック・ボックスをクリアします。
- 完了したら、「追加」をクリックして、サーバーを「サーバー」リストに追加します。

サーバーの追加を希望しない場合は、「追加」の代わりに「閉じる」をクリックして、「サーバーへのログオン」ウィンドウに戻ります。

- 「閉じる」をクリックして「サーバーの更新」ウィンドウをクローズすると、「サーバーへのログオン」ウィンドウに戻ります。

ネットワークまたはハード・ディスク・サーバーの追加

1. 「サーバーへのログオン」ウィンドウで「サーバーの更新」をクリックし、「サーバーの更新」ウィンドウを開きます。以下に例を示します。



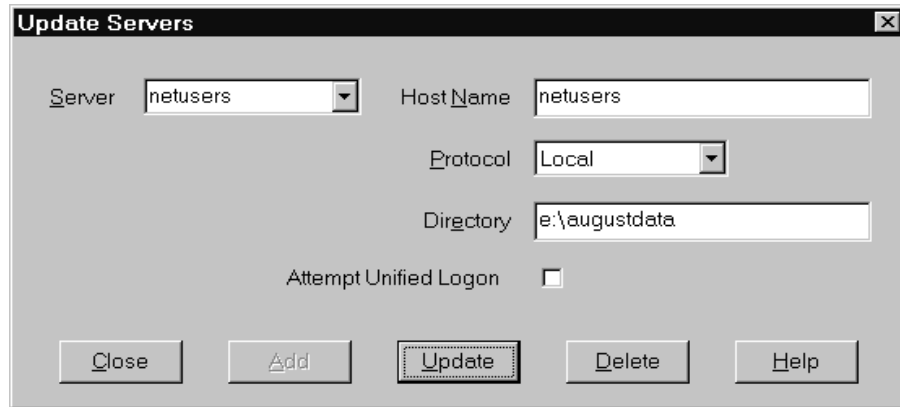
2. 「サーバー」フィールドにサーバーの名前を入力します。例えば、 netusers または hdusers と入力します。
3. 「プロトコル」リストから、「ローカル」を選択します。
4. 「ディレクトリー」フィールドに、サーバー・ファイルのディレクトリーまたはサーバー・ファイルへのディレクトリー・パスを入力します。
5. 「統合ログオンの試行」チェック・ボックスをクリアします。
6. 完了したら、「追加」をクリックして、サーバーを「サーバー」リストに追加します。

サーバーの追加を希望しない場合は、「追加」の代わりに「閉じる」をクリックして、「サーバーへのログオン」ウィンドウに戻ります。

7. 「閉じる」をクリックして「サーバーの更新」ウィンドウをクローズすると、「サーバーへのログオン」ウィンドウに戻ります。

ローカル・サーバーの変更

1. 「サーバーへのログオン」ウィンドウで「サーバーの更新」をクリックし、「サーバーの更新」ウィンドウを開きます。以下に例を示します。



2. 「サーバー」リストからサーバー名を選択します。
3. 変更を行います。
4. 完了したら、「更新」をクリックして選択されたサーバーに関する情報を変更します。

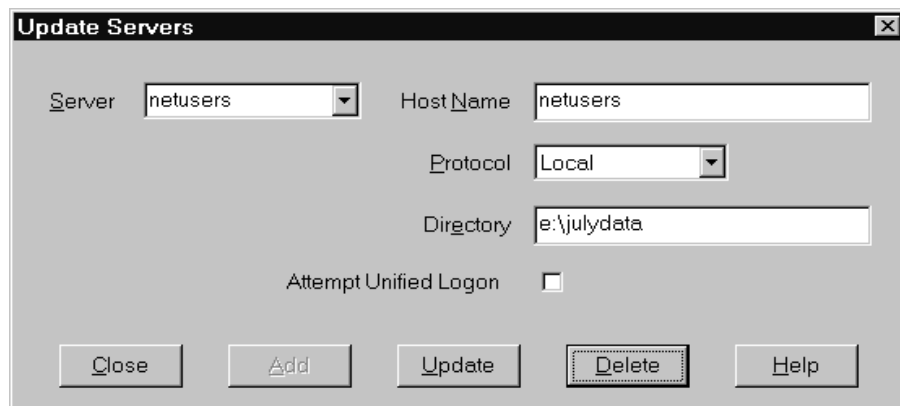
変更を行いたくない場合には、「更新」の代わりに「閉じる」をクリックして変更内容を元に戻し、「サーバーへのログオン」ウィンドウに戻ります。

5. 作業中のサーバーに関する変更を終了後、「閉じる」をクリックすると、「サーバーへのログオン」ウィンドウに移動します。

サーバーの削除

アクセス可能なサーバーのリストからのサーバーを削除するには、以下のステップに従います。

1. 「サーバーへのログオン」ウィンドウから「サーバーの更新」をクリックし、「サーバーの更新」ウィンドウを開きます。例えば、次のようなダイアログ・ボックスが表示されます。



2. 「サーバー」リストから、削除したいサーバー名を選択します。
3. 「削除」をクリックします。OnDemand が、アクセス可能なサーバーのリストからそのサーバーを削除します。

サーバーの削除を希望しない場合は、「削除」の代わりに「閉じる」をクリックして、「サーバーへのログオン」ウィンドウに戻ります。


4. 「閉じる」をクリックして「サーバーの更新」ウィンドウをクローズすると、「サーバーへのログオン」ウィンドウに戻ります。

第 8 章 フォルダのオープン

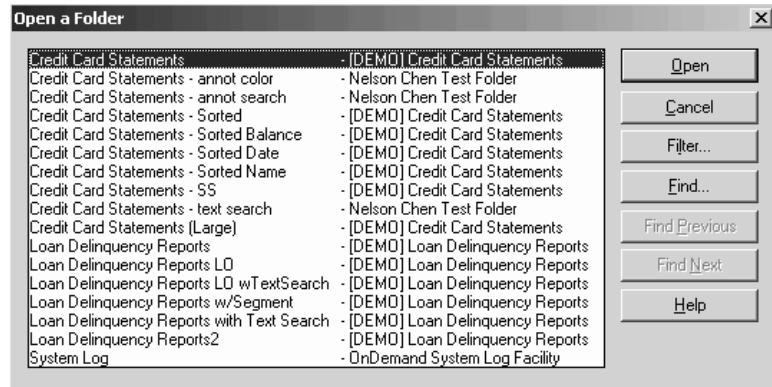
重要: OnDemand は、複数のフォルダから選択を行う場合にのみ、「フォルダを開く」ウィンドウを開きます。それ以外の場合、OnDemand は、ユーザーがサーバーにログオンした直後に「検索基準と文書リスト」ウィンドウを開きます。フォルダを選択する必要がない場合は、以下のステップを飛ばして 29 ページの『第 9 章 文書の検索』に進んでください。

フォルダを開くには、以下のステップに従ってください。

1. 「フォルダを開く」ウィンドウが OnDemand ワークスペース内で開いていない場合は、ここで開きます。

メニュー	ツールバー	キーボード
「ファイル」→「フォルダを開く」と選択	 をクリック	Ctrl+O を押す

「フォルダを開く」ウィンドウ内に、アクセス可能なフォルダがリスト表示されます。以下に例を示します。



2. フォルダを開くには、フォルダ名をダブルクリックするか、キーボードの矢印キーでフォルダ名まで移動し、**Enter** を押します。OnDemand は「検索基準と文書リスト」ウィンドウを開きます。

ヒント: 一度に複数のフォルダを開くことができます。別のフォルダを開く前に、フォルダを閉じておく必要はありません。複数のフォルダで作業しているとき、OnDemand は、開かれているフォルダを「ウィンドウ」メニューにリストするので、それらのいずれかをクリックすると、アクティブ・フォルダにすることができます。

「フォルダを開く」ウィンドウでは、フォルダのオープンの他に、以下の操作も行うことができます。

検索 「検索」ウィンドウを開いて、フォルダを検索するときに使用し

ます。「検索」ウィンドウから、検索するテキストを入力します。クライアントは、名前または説明にそのテキストが含まれるフォルダーのうち、最初にリストされているフォルダーに移動します。前回行った検索操作を繰り返して、そのテキストが入ったフォルダーのリスト内の次または前のフォルダーに移動する場合には、「次を検索」コマンドと「前を検索」コマンドを使用します。

ヒント: 探しているフォルダーの名前がわかっている場合は、そのうちの数文字を「フォルダー・リスト」ウィンドウに入力すると、フォルダーを素早く見つけることができます。入力した文字に一致する名前のフォルダーが表示され、選択されます。

フォルダーの表示

サーバー上にある全フォルダーまたは主要フォルダーをリストするときに使用します。クライアントは、サーバーへのログオン時に主要フォルダーだけをリストします。2 次的なフォルダーを含めたすべてのフォルダーをリストする場合は、「すべて (All)」を選択します。サーバーに 2 次的なフォルダーが定義されていない場合は、「フォルダーの表示」オプションは使用不可になっています (サーバー上のすべてのフォルダーがリストされます)。管理者がどのフォルダーが 2 次的なフォルダーであるかを判断します。

フィルター

選択した基準を基にしてフォルダーのリストを更新するとき、使用します。「フォルダーを開く」で「フィルター」をクリックすると、「フォルダー・フィルター・リスト」ウィンドウが開きます。使用可能なオプションには以下が含まれます。

すべての名前を表示

結果リストに、使用可能なすべてのフォルダー名を組み込みたい場合、このチェック・ボックスを選択します。このチェック・ボックスが選択されると、「フォルダー名でフィルタリング」セクションがぼかし表示になります。このチェック・ボックスを選択しない場合、「フォルダー名でフィルタリング」フィールドにフォルダー名を入力するか、またはドロップダウン・リストから既存のフォルダー名を選択する必要があります。

現行リストに追加 (Add To Current List)

新規フォルダーを既存フォルダー・リストに追加したい場合、このチェック・ボックスを選択します。このチェック・ボックスを選択しない場合、この操作の結果によって、既存のフォルダー・リストが置き換えられます。

フォルダー名でフィルタリング

置換したい、または既存のフォルダー・リストに追加したいフォルダー名 (複数可) を入力します。

- 名前では、SQL ワイルドカード文字 % および _ を使用できます。例えば、CR% と入力すると、CR から始まるすべてのフォルダー名が表示されるはずですが。
- フォルダー名の中の区切り文字として、二重引用符を使用できます。例えば、次のように入力したとします。

"Loan%"System Log"Credit%

Loan で始まるすべてのフォルダー名、特定のフォルダー名 System Log、および Credit で始まるすべてのフォルダー名が戻されます。

- 入力フィールドでは、2000 文字を超える文字は受け入れられません。

第 9 章 文書の検索

概要

OnDemand クライアントでは、「検索基準と文書リスト」ウィンドウを使用して文書を検索することができます。タイトル・バーに、ユーザーが開いたフォルダーの名前が表示されます。次に示す例では、「Baxter Bay Credit」がフォルダーの名前です。

重要:「検索基準と文書リスト」ウィンドウを開く方法については、25 ページの『第 8 章 フォルダーのオープン』を参照してください。

Date	Account	Name	Balance
------	---------	------	---------

「検索基準」エリアには、文書の検索に使用するフィールド、コントロール・ボタン、コマンドがあります。

フィールド名

フィールドの数および名前は、フォルダーによって変わります。この例では、口座 (Account)、名前 (Name)、残高 (Balance)、および日付 (Date) の 4 つの検索フィールドがあります。

演算子 (各フィールドにつき 1 つがアクティブ)

この例では、「日付 (Date)」フィールドの演算子は **Between** です。

OnDemand は、標準の SQL (構造化照会言語) 検索演算子で文書を検索します。検索演算子ボタンをクリックすると、そのフィールドで使用可能なすべての検索演算子がリスト表示されます。

注: OnDemand 管理者が、各フィールドで使用可能な検索演算子を設定します。検索演算子はフォルダーやフィールドごとに変えることができます。

入力フィールド

検索値 (テキスト、数字、および日付) を入力する場所。検索入力フィールドに ↓ があるときは、↓ をクリックして事前設定選択項目から選択します。

コマンド:

検索	検索を開始するために使用します。
全フィールドの消去	すべての検索フィールドから値を消去するために使用します。
デフォルトに戻す	検索演算子と検索フィールドの内容を、そのフォルダーを最初に開いたときの表示値に設定するときに使用します。

論理演算子

AND は、すべての検索基準と一致しなければ検索が成立しないことを意味します。OR は、最低 1 つの検索基準と一致しなければ検索が成立しないことを意味します。これを変更するための十分な理由がない限り、論理演算子を変更しないでください。

「文書リスト」エリアでは検索基準に一致する文書をリストし、文書进行处理するための制御が含まれます。詳しくは、33 ページの『第 10 章 文書の作業』を参照してください。

文書の検索

文書を検索するには、以下のステップに従います。

1. 検索値 (例えば、口座、名前、残高、または日付) を 1 つまたは複数の検索入力フィールドに入力します。
 - **Tab** を押し、1 つの入力フィールドから他の入力フィールドに移動します。すべての入力フィールドに値を入力する必要はありません。しかし、最低 1 つの入力フィールドに値を入力する必要があります。必須フィールドの値については、OnDemand 管理者に問い合わせてください。
 - **Like** および **Not Like** 検索演算子とともにワイルドカード文字を使用し、他の文字、数字、または特殊文字を表すことができます。OnDemand は 2 つのワイルドカード文字を使用します。_ (下線) は任意の 1 文字、1 つの数字、またはその他の特殊文字 1 つと一致します。例えば、検索フィールドに 1_0 と入力した場合、OnDemand は 100、110、120...190 を検出します。% (パーセンテージ) は、ゼロまたはそれ以上の文字、数字、あるいはその他の特殊文字と一致します。例えば、検索フィールドに MARS% と入力した場合、OnDemand は MARS、MARSCH、MARSHHELL、MARSTEENS などを検出します。
 - **管理クライアントのフォルダー・フィールドに説明が提供されている場合:** 検索基準名の上にマウスを移動すると、対応する検索基準名についての説明を含むポップアップ・ツールチップが表示されます。説明にスペース以外の文字が含まれない場合、ツールチップは表示されません。
 - 必須の検索基準名の前には、アスタリスク (*) が付いています。

2. 各検索フィールド用の検索演算子を選択します。検索演算子ボタンを選択すると、各フィールドで使用可能なすべての演算子がリスト表示されます。「演算子の選択 (Select Operator)」ウィンドウ内のボタンの 1 つを選択することにより、フィールド用の検索演算子を選択します。
3. 「検索」をクリックします。 OnDemand は、検索基準と一致する文書を「文書リスト」に表示し、ステータス・バーを文書の数で更新します。 OnDemand は文書を、サーバー内で発生した順、または OnDemand 管理者によって選択された順にリストします。
4. OnDemand は、データベース内の検索中に、ステータス・バーに次のメッセージを表示します。

Search is proceeding ... *nnn* documents have been selected.

ここで、*nnn* は検索基準と一致した文書の数になります。

検索を停止する必要がある場合は、次のようにします。

ツールバー

キーボード



をクリック

スペース・バーを押す

ほとんどの検索要求は迅速に処理されます。ただし、検索要求が複雑な場合は、終了までに数分かかる場合があります。検索基準が具体的で明確であるほど、OnDemand が検索に要する時間が短くなります。例えば、Equal 演算子を使った検索 (Equal MARSHAL など) は、Like 演算子による検索 (Like MARSHAL% など) より短い時間で済みます。

注:

「オプション」メニューで「自動表示」を「最初の文書」に対して構成した場合、OnDemand は検索基準と適合する文書のリスト内の最初の文書を自動的に開きます。「自動表示」を「単一文書」に対して構成していて、検索基準に適合する文書が 1 つしかなかった場合、OnDemand は自動的にその文書を開きます。

第 10 章 文書の作業

概要

「検索基準と文書リスト」ウィンドウから、使用する文書を選択します。

重要:「検索基準と文書リスト」ウィンドウを開く方法については、29 ページの『第 9 章 文書の検索』を参照してください。

Date	Account	Name	Balance
04/03/95	000-000-007	ANN ARBOR CYCLERY	341.62
03/03/95	000-000-007	ANN ARBOR CYCLERY	341.62
02/03/95	000-000-007	ANN ARBOR CYCLERY	1252.52
01/03/95	000-000-007	ANN ARBOR CYCLERY	1252.52
12/03/94	000-000-007	ANN ARBOR CYCLERY	1886.38
11/03/94	000-000-007	ANN ARBOR CYCLERY	1278.22
10/03/94	000-000-007	ANN ARBOR CYCLERY	1278.22
09/03/94	000-000-007	ANN ARBOR CYCLERY	723.76

検索基準と一致する文書は、「文書リスト」エリアにリストされます。リスト内の特定の文書に移動する場合は、スクロール・バーかキーボードの矢印キーを使用します。

「文書リスト」コマンドを使用して文書の作業を行います。

選択したすべてを表示

選択した文書を表示するときに使用します。複数の文書を選択すると、OnDemand は各文書を別々の表示ウィンドウに読み込みます。

選択したすべてを印刷

選択した文書を印刷するときに使用します。

リストのソート

文書リスト内の文書の並び替えを行う際に使用します。

付加

文書リスト内にすでにリストされている文書の後ろに、文書のリストを追加するために使用します。デ

フォルトでは、「検索」がクリックされるたびに、OnDemand はリストの文書を検索と一致する文書に置き換えます。

自動スクロール

検索結果が検出されるにつれ文書リストを自動的にスクロールさせるために使用します。

注: 「自動スクロール」チェック・ボックスは、文書リスト内の文書が分類順序で生成されるときには、「検索基準と文書リスト」ウィンドウに含まれません。

同時に表示できる文書の数、システム・リソースと表示する文書の種類によって決まります。通常は、AFP 文書よりも行データ文書の方が一度にオープンできる文書の数が多くなります。どれだけの文書を一度にオープンできるかについては、自身で試してみてください。OnDemand は、選択された各文書を別々の表示ウィンドウに読み込みます。

OnDemand は、「自動表示」コマンドを使用して、検索の完了後に自動的に文書を開くかどうかを決定します。「自動表示」コマンドは、「オプション」メニューから構成することができます。

なし

OnDemand は、検索で見つかった文書を自動的に開きません。「なし」がデフォルト設定です。

最初の文書

OnDemand は、検索基準と一致する文書のリスト内の最初の文書を自動的に開きます。

単一文書

検索基準と一致する文書が 1 つだけの場合、OnDemand は自動的にその文書を開きます。

表示のための文書の選択

表示する文書を選択するには、以下のステップに従います。

1. 「検索基準と文書リスト」ウィンドウの「文書リスト」エリアから、表示したい文書を 1 つまたは複数選択します。
2. 「選択したすべてを表示」をクリックします。OnDemand は選択された文書をそれぞれ別のウィンドウで表示します。

表示する文書を複数選択した場合、OnDemand はステータス・バーに次のメッセージを表示します。

Document retrieval is proceeding for *document name*.

現行文書および残りの文書の検索を停止する必要がある場合は、次の処理を行います。

ツールバー



をクリック

キーボード

スペース・バーを押す

OnDemand - [000-000-000 SMITH CYCLERY CO]

File Edit View Search Notes Options Window Help

bb **BAXTER BAY BANK**
More Bank for the Buck

PAGE 1 OF 1

STATEMENT DATE	
04/03/95	
CREDIT LIMIT	
2000.00	
CREDIT AVAILABLE	AMOUNT OVER LIMIT
942	0
ACCOUNT NUMBER	
000-000-000	

MAKE CHECKS PAYABLE TO: BigBucksCard

DIRECT PAYMENT OR INQUIRIES TO: BigBucksCard Center
CUSTOMER SERVICES
P.O BOX 100/BOULDER, CO 99999
PHONE (123) 123-4567

*Smith Cyclery Co
113 W. Maumee St
Adrian, MI 49221*

S
AMOUNT PAID

PLEASE DETACH AND RETURN THIS TOP PORTION WITH PAYMENT

PAST DUE	CURRENT DUE	MINIMUM PAYMENT DUE	PAY EITHER AMOUNT	NEW BALANCE	PAY NEW BALANCE BY THIS DATE TO AVOID ADDITIONAL FINANCE CHARGE	YEAR-TO-DATE FINANCE CHARGE
65	105.81	105.81		1058.11	05/03/95	159.55

STATEMENT DATE 04/03/95 ACCOUNT NUMBER 000-000-000 ANNUAL PERCENTAGE RATE 21.00 %

複数文書の作業


複数の文書の作業を一度に行うときに役立つコマンドがあります。開いている文書間の移動、「文書リスト」からの他の文書のオープン、「検索基準と文書リスト」ウィンドウへの復帰（より多くの文書の選択、またはより多くの文書の検索）のためのコマンドがあります。

開いている文書間を移動するには、次のいずれかの方式を使用します。

メニュー

文書番号 (1, 2, 3, ...) を
ウィンドウ・メニューから選
択



ツールバー

-  をクリック
-  をクリック

キーボード


Alt+W を押して「ウィンドウ」メニューをアクティブにし、次に文書 (1, 2, 3, ...) に相当するキーを押す

文書を表示しながら「文書リスト」から文書を開くには、以下のいずれかの方式を使用します。

メニュー	ツールバー	キーボード
<ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウ・メニューから「文書リストでの前の項目」を選択 	<ul style="list-style-type: none"> •  をクリック 	<ul style="list-style-type: none"> • Alt+F9 を押す • Alt+F10 を押す
<ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウ・メニューから「文書リストでの次の項目」を選択 	<ul style="list-style-type: none"> •  をクリック 	

制限: これらの方法では、現在表示している文書は、別の文書が開く前にクローズします。

文書の表示中に「検索基準と文書リスト」ウィンドウに戻るには、以下のいずれかの方式を使用します。

メニュー	ツールバー	キーボード
フォルダー名を ウィンドウ・メニューから選 択	<ul style="list-style-type: none"> •  をクリック 	Ctrl+D を押す




文書の表示

このセクションでは、以下のようないくつかの基本文書タスクの実施方法を示します。

- 文書内のページへの移動
- 文書内の情報の検索
- 文書への注釈の付加

文書内のページへの移動

表示中の文書が複数のページを含むときは、複数の方法で文書内の別のページに移動すること（文書のナビゲート）ができます。最も一般的な方法の一部をリストします。

メニュー	ツールバー	キーボード
<ul style="list-style-type: none"> 「検索」メニューから「Go To」を選択し、表示中の文書内の特定のページに移動 	<ul style="list-style-type: none">  をクリック 	<ul style="list-style-type: none"> F4 キーを押して、表示中の文書内の特定のページに移動
<ul style="list-style-type: none"> 「検索」メニューから「前ページ」を選択し、直前のページに移動 	<ul style="list-style-type: none">  をクリック 	<ul style="list-style-type: none"> F7 キーを押して直前ページに移動
<ul style="list-style-type: none"> 「検索」メニューから「次ページ」を選択し、次のページへ移動 	<ul style="list-style-type: none">  をクリック 	<ul style="list-style-type: none"> F8 キーを押して次のページに移動
<ul style="list-style-type: none"> 「検索」メニューから「最初のページ」を選択し、文書の最初のページに移動 		<ul style="list-style-type: none"> Ctrl+Home を押して文書の先頭ページに移動
<ul style="list-style-type: none"> 「検索」メニューから「最後のページ」を選択し、最後のページに移動 		<ul style="list-style-type: none"> Ctrl+End を押して文書の最終ページに移動


「Go To」コマンドを選択すると、OnDemand は移動先のページを指定する「Go To」ウィンドウを表示します。

文書内の情報の検索

表示している文書内にある情報を探すときには、「検索」ウィンドウを使用します。例えば、表示している文書に何百（または何千）もの顧客名が含まれている場合、「検索」コマンドを使用して、特定の顧客名を見つけることができます。その後「次を検索」コマンドおよび「前を検索」コマンドを使用して、文書内の、その顧客名に対する別のオカレンスに移動することができます。

文書内の情報の検索は次のようにして開始します。

1. 以下のいずれかの方式によって「検索」ウィンドウを開きます。

メニュー	ツールバー	キーボード
「検索」→「検索」と選択する	 をクリック	F5 キーを押す

2. 検索する情報を「ストリング」フィールドに入力します。「ヘルプ」をクリックすると、「検索」ウィンドウで入力できる情報およびその他のオプションについてのオンライン・ヘルプが表示されます。
3. 準備ができたなら、「検索」をクリックします。OnDemand は文書内でそのストリングが最初に検出される場所に移動します。
4. 以下のいずれかの方式により、文書内に別の最初のストリングがあるところまで移動することができます。


メニュー	ツールバー	キーボード
<ul style="list-style-type: none"> 「検索」 → 「前を検索」と選択する 「検索」 → 「次を検索」と選択する 	<ul style="list-style-type: none">  をクリック  をクリック 	<ul style="list-style-type: none"> Ctrl+R を押す Ctrl+N を押す

文書への注の付加

OnDemand では、注釈は許可ユーザーが文書に付加することができる電子的な注のことです。² 文書についての説明や覚え書きなどの情報、文書についての検討事項や文書に添付したいその他の情報を注釈に入れることができます。

要件: OnDemand 管理者は、ユーザーに注の付加、更新、削除の許可を与えなければなりません。

文書に注を付加したいとき、または文書に対する注を表示するときは、以下のいずれかの方法で行います。

メニュー	ツールバー	キーボード
<ul style="list-style-type: none"> 「注」 → 「注の追加」と選択して、表示している文書に注を追加する 「注」 → 「注の表示」と選択して、既存の注を表示する 	<ul style="list-style-type: none">  をクリック 	<ul style="list-style-type: none"> Ctrl+A を押して表示中の文書に注を追加 Ctrl+N を押して既存の注を表示

「注の追加」コマンドが選択されると、OnDemand は「注の追加」ウィンドウを開きます。注釈のオプションの詳細については、「注の追加」ウィンドウで「ヘルプ」をクリックしてください。

「注の表示」コマンドが選択されると、OnDemand は「注」ウィンドウを開きます。「注」ウィンドウでは、既存の注釈を読んだり、独自の注を追加または削除したり、注を検索することもできます。「注」ウィンドウで「ヘルプ」をクリックすると、注に関する操作の詳細を調べることができます。

文書の印刷とファックス送信

このセクションでは、文書を印刷する方法およびファックスで送る方法について説明します。

表示されている文書のページ、1 つの文書から選択したいくつかのページ、あるいは文書全体を、印刷またはファックス送信することができます。また、文書リストから複数の文書を選択して、印刷またはファックス送信することもできます。

2. 注は、文書に物理的に添付するものではなく、文書とは別個の場所に保管されるものです。システムが注釈の記録を取るため、クライアントはその文書に注が存在するとそれを示し、要求に応じて注を取り出します。注は、だれかが削除しない限り、文書自体がシステムから削除されるまでその文書に付加されたままです。


OnDemand で印刷またはファックス送信を要求するには、最初に「印刷」コマンドを使用して「印刷」ウィンドウを開きます。文書をファックスで送る場合は、「印刷」ウィンドウで「サーバー」オプションを選択する必要があります。「印刷」ウィンドウから利用できるオプションについては、オンライン・ヘルプを参照してください。

プリンターについての質問は、OnDemand 管理者に問い合わせてください。プリンターの選択方法やプリンター・オプションの変更方法については、オンライン・ヘルプで調べてください。印刷方法の詳細については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

文書からの印刷

表示している文書内のページを印刷する場合は、以下の手順に従ってください。

1. 以下のいずれかの方法で「印刷」ウィンドウを開きます。

メニュー	ツールバー	キーボード
「ファイル」→「印刷」と 選択する	 をクリック	Ctrl+I を押す

2. プリンターを選択して、印刷オプションを指定します。詳細については、オンライン・ヘルプを参照してください。

ヒント: 文書から印刷する場合、文書の全ページ、現在表示中のページ (デフォルトの選択項目)、または文書内のいくつかの選択ページを印刷することができます。文書をファックスで送る場合は、カバー・ページに入れる情報を指定することができます。送信側と受信側の情報を保管したり、取り出したりすることもできます。

3. 準備ができたなら、「印刷」をクリックします。

文書リストからの印刷

文書リストから 1 つまたは複数の文書を印刷する場合は、以下の手順に従ってください。

1. 「検索基準と文書リスト」ウィンドウの「文書リスト」エリアから、印刷したい文書を 1 つまたは複数選択します。
2. 「選択したすべてを印刷」をクリックして、「印刷」ウィンドウを開きます。
3. プリンターを選択して、印刷オプションを指定します。詳細については、オンライン・ヘルプを参照してください。

ヒント: 文書リストから文書を印刷する場合、OnDemand は自動的に文書内の全ページを印刷します。

4. 準備ができたなら、「印刷」をクリックします。

制限: 文書リストからユーザーが定義したタイプでは、直接アプリケーションから文書を印刷することはできません。

文書の送信

OnDemand は、ワークステーション上のメール・クライアントとのインターフェースとなって、ユーザーが組織外の人や OnDemand にアクセスできない人に文書のコピーを電子メールで送信できるようにします。文書を他のだれかに電子メールで送信するには、「送信」コマンドを使用します。

重要: 送信機能を使用するには、ワークステーションに MAPI (Mail Application Programming Interface) クライアントをインストールしておく必要があります。例えば、MAPI クライアントは、Lotus Notes® 5.08 以降とともにインストールされます。また、Netscape Navigator 4.06 以降にも、文書の送信に使用できる MAPI クライアントが組み込まれています。MAPI クライアントのインストールおよび構成に関する詳細については、担当の OnDemand 管理者に問い合わせてください。

表示している文書を送信する場合は、以下の手順に従ってください。

1. 以下のいずれかの方法で「送信」ウィンドウを開きます。

メニュー

「ファイル」→「送信」と選択する

ツールバー



をクリック

2. 送信オプションを指定します。詳細については、オンライン・ヘルプを参照してください。

ヒント: 文書を送信するとき、デフォルトでは、OnDemand が自動的に文書内の全ページを送信します。ただし、「選択した領域をテキストとして使用 (Use Selected Area As Text)」オプションを指定すると、文書の一部を送信することができます。(「送信」コマンドを選択する前に、文書内で送信したい部分を選択する必要があります。)

3. 準備ができれば、「OK」をクリックします。OnDemand がデフォルトのメール・クライアントを開始します。
4. 宛先を指定します。必要に応じて、メッセージ・テキストを入力したり、メッセージの件名を変更したりします。
5. メッセージを送信する準備ができれば、メール・クライアント内で「送信」をクリックします。

文書リストからの送信

文書リストから 1 つまたは複数の文書を送信する場合は、以下のステップに従ってください。

1. 「検索基準と文書リスト」ウィンドウの「文書リスト」エリアから、送信したい文書を 1 つまたは複数選択します。
2. ツールバーで「送信」をクリックするか、「ファイル」→「送信」と選択するかして、「送信」ウィンドウを開きます。
3. 送信オプションを指定します。詳細については、オンライン・ヘルプを参照してください。

ヒント: 文書リストから文書を送信する場合、OnDemand は自動的に文書内の全ページを送信します。

4. 準備ができたなら、「**OK**」をクリックします。OnDemand が文書を取り出し、デフォルトのメール・クライアントを開始します。

複数の文書を選択した場合、OnDemand はステータス・バーに次のメッセージを表示します。

Document retrieval is proceeding for *document name*.

現行文書および残りの文書の検索を停止する必要がある場合は、次の処理を行います。

ツールバー

キーボード



スペース・バーを押す

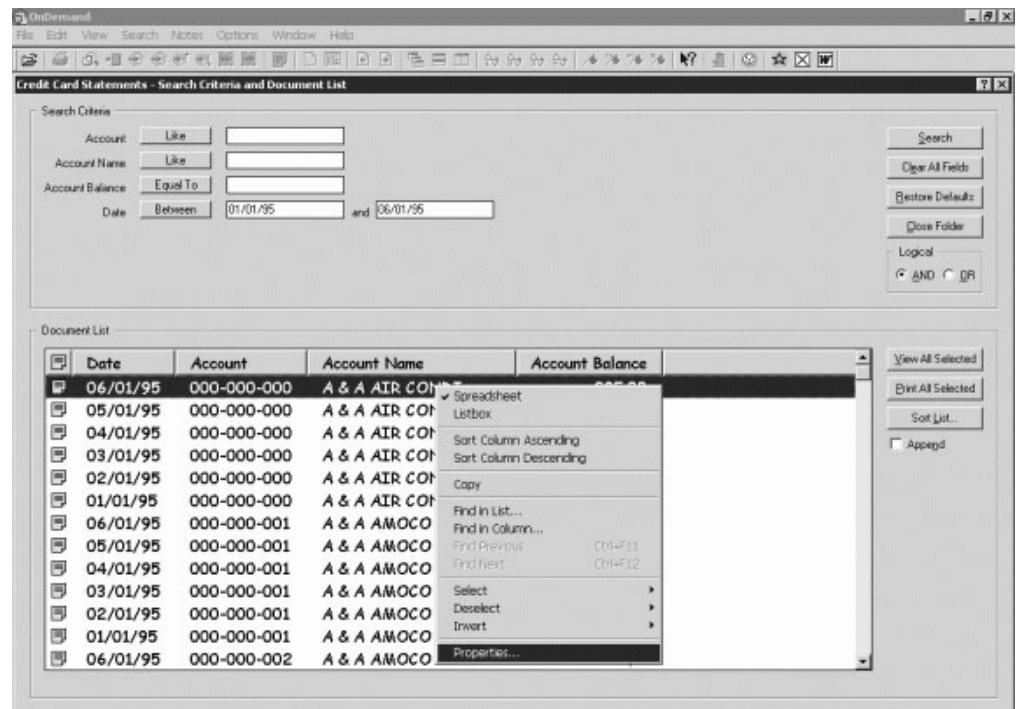
をクリック

5. メール・クライアントで、宛先を指定します。必要に応じて、メッセージ・テキストを入力したり、メッセージの件名を変更したりします。
6. メッセージを送信する準備ができたなら、メール・クライアント内で「送信」をクリックします。

文書プロパティの表示

文書のプロパティを表示するには、「文書リスト」の文書を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

例:



その文書についての以下の情報を含む「文書のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

名前 文書の名前。これは、文書がアクティブなときに、タイトル・バーに組み込まれる文書名と同じです。

タイプ 文書タイプ。以下の文書タイプが含まれます。

- AFP
- 行
- BMP
- GIF
- PCX
- TIFF
- PDF
- なし
- JFIF
- ユーザー定義
- OD 定義
- E-MAIL
- SCS
- SCS 拡張
- メタコード
- PNG
- DJDE
- 不明

拡張子 「ユーザー定義」の文書タイプに関連したファイル拡張子。他のすべての文書タイプの場合、「N/A」が表示されます。

アプリケーション・グループ

文書に関連したアプリケーション・グループの名前。

アプリケーション

文書に関連したアプリケーションの名前。

部分ロード ID

文書の部分ロード ID。部分ロード ID には以下のものが組み込まれます。

- アプリケーション・グループ ID
- 1 次ノード ID と 2 次ノード ID
- アプリケーション・グループ内のロード ID

注:

- 部分ロード ID には、レポートの最も古い日付と最新の日付は組み込まれません。
- アンロード操作のために ARSADMIN を使用する場合、最も古い日付と最新の日付が必要な場合があります。一般に、「システム・ログ」フォルダーからそれらの日付を入手できます。適切な日付範囲内で検索を実行

し、Msg Num Equal To 87 および Message Like %partial load id% と指定すると、完全なロード ID が「メッセージ (Message)」列に表示されます。

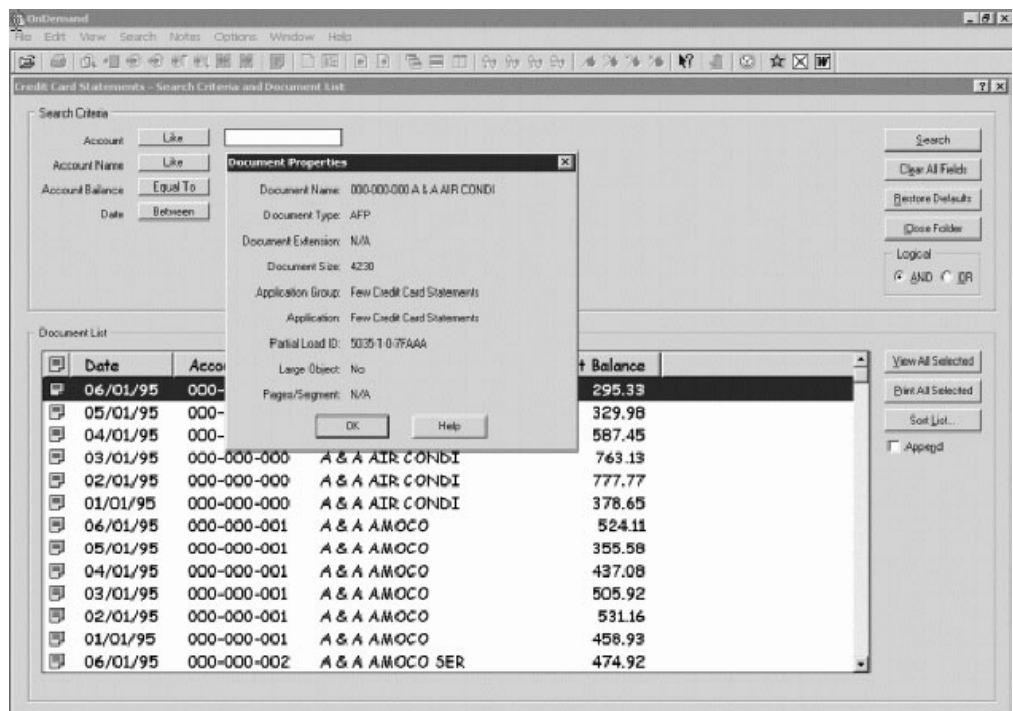
ラージ・オブジェクト

文書がラージ・オブジェクトである場合、「はい」が表示されます。文書がラージ・オブジェクトでない場合は、「いいえ」が表示されます。

ページ/セグメント

検索されたラージ・オブジェクトについて、セグメント当たりのページ数が表示されます。検索結果のラージ・オブジェクト文書については、「情報が使用不可です」が表示されます。他の文書タイプの場合、「N/A」が表示されます。

以下は、「文書のプロパティ」ウィンドウの一例です:



第 11 章 コマンド用のショートカットの作成

メニューには、コマンド用に最大 10 個の異なるショートカットを定義することができます。それぞれのショートカットは、Ctrl キーとファンクション・キーの 1 つ (F1 から F10) の組み合わせになります。

例えば、ズーム率 200% のショートカットを Ctrl + F1 に、ズーム率 50% のショートカットを Ctrl + F2 に定義することができます。表示している文書のズーム率を、Ctrl + F1 を押すと 200 % に、Ctrl + F2 を押すと 50 % に切り替えることができます。

ショートカットの作成をメニューから行うには、次の手順を実行します。

1. 「オプション」 → 「ショートカットのカスタマイズ」と選択します。
2. ショートカットを実行する際に使用する、ファンクション・キーの番号を選択します。
3. 「アクション」リストの中からアクションを 1 つ以上選択して、「保管」をクリックします。

特定のコマンド用にショートカットを作成する方法についての詳しい説明を見るには、「ヘルプ」をクリックしてください。

作成したショートカットを表示するには、「ファイル」 → 「ショートカット」の隣にある矢印をクリックします。

第 12 章 OnDemand サーバーとして CD-ROM を使用する

OnDemand では、システム管理者が、OnDemand サーバーからデータを抽出して、配布が容易な CD-ROM にそのデータを書き込むことができます。この場合、各 CD-ROM が OnDemand サーバーになり、本格的な OnDemand サーバーからアクセスするのほとんど変わらない方法で、CD-ROM からデータにアクセスすることができます。

CD-ROM を使用するには、まずインストールする必要があります。CD-ROM をインストールするには、x:¥install¥setup.exe (x:¥ は CD-ROM のドライブ名) を実行します。

セットアップ・プログラムは、必須ファイルをハード・ディスクにコピーし、必要な Windows アイコンを作成します。OnDemand クライアント・ソフトウェアは CD-ROM にあり、そこからクライアントにアクセスする必要があります。

CD-ROM の OnDemand クライアントは、ユーザーのワークステーションにインストールする、通常の OnDemand クライアントと同じです。ただし、このシナリオでは、サーバーは TCP/IP 接続ではなくローカルです。

制限:

- CD-ROM の使用中は、パスワードの変更はできません。
- 注釈および名前付き照会は、CD-ROM ではなくローカルのハード・ディスクに保管されます。
- 検索の実行時に、「And」や「Or」論理演算子は表示されません。

第 13 章 OnDemand セッションの終了

このセクションでは、文書とフォルダーのクローズ、および OnDemand サーバーのログオフのためのいくつかの方法について説明します。



文書のクローズ

文書をさまざまな方法でクローズすることができます。最も一般的な方法の一部をリストします。

メニュー

- 「ファイル」→「閉じる」と選択して、表示している文書をクローズする
- 「ファイル」→「文書をすべて閉じる」と選択して、開いているすべての文書をクローズする
- 「ファイル」→「フォルダーを閉じる」と選択し、フォルダーおよびそのフォルダーから開いたすべての文書をクローズする
- 「ファイル」→「OnDemand の終了」と選択し、開いている文書およびフォルダーをすべてクローズし、サーバーからログオフし、OnDemand を終了する

ツールバー

-  をクリックして表示中の文書をクローズし、「文書リスト」内の前の文書をオープン
-  をクリックして表示中の文書をクローズし、「文書リスト」内の次の文書をオープン

キーボード

- F3 キーを押し、表示中の文書をクローズ
- Alt+F3 を押し、開いているすべての文書をクローズ
- Alt+F4 を押し、開いている文書およびフォルダーをすべてクローズし、サーバーからログオフし、OnDemand を終了

フォルダーのクローズ

以下のいずれかの方式を使用し、サーバーからログオフしたり OnDemand を終了せずに、フォルダーをクローズします。

- 「検索基準と文書リスト」ウィンドウで「フォルダーを閉じる」をクリックする。
- 「ファイル」→「フォルダーを閉じる」と選択する。
- 「ファイル」→「フォルダーをすべてを閉じる」と選択する。

ヒント: 複数のフォルダーが開いている場合、「ファイル」→「フォルダーを閉じる」と選択すると、OnDemand は現行フォルダーを閉じます。(OnDemand は、ウィンドウ・メニュー内の現行フォルダーの隣にチェック・マークを付けます。)

サーバーからのログオフ

サーバーからログオフするには、「ファイル」→「ログオフ」と選択してください。

OnDemand の停止

OnDemand クライアントをいくつかの方法で停止することができます。OnDemand を停止するための最も一般的な方法を、以下にいくつか示します。

メニュー

キーボード

「ファイル」→「OnDemand の終了」と選択する。 Alt+F4 を押す

第 14 章 OnDemand クライアントの除去

Uninstall 機能によって OnDemand クライアントをワークステーションから除去することができます。Uninstall は、OnDemand に関するディレクトリーならびにシステム・ファイル内のすべての OnDemand に対する参照を除去します。Uninstall を実行するには、次のようにしてください。

1. 「スタート」 → 「設定」 → 「コントロール パネル」 → 「プログラムの追加と削除」と選択します。
2. リストから、「**OnDemand32**」を選択します。
3. 「変更と削除」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。

第 15 章 OnDemand クライアント・コンポーネントの追加または除去

1. OnDemand クライアントの Setup プログラムを開始します。「ようこそ」画面が、「変更」オプションを選択した状態で開かれています。
2. 「次へ」をクリックします。
3. コンポーネントを追加する場合は、リストから追加するコンポーネントを選択します。コンポーネントを削除する場合は、リストからコンポーネントをクリアします。特定の言語やフォント、その他のオプションの追加や削除も可能です。

注: コンポーネントを追加する場合は、必ず現在インストールされているコンポーネントを選択したままにしてください。コンポーネントのチェック・マークをクリアした場合、Modify プロセスによってワークステーションからそのコンポーネントが除去されてしまいます。

4. 「次へ」をクリックします。
5. コンポーネントを確認します。
6. 「次へ」をクリックして、画面の指示に従って終了させます。

第 16 章 トラブルシューティング

トラブルシューティング・シナリオ 1: 別の言語の文書が正しく表示されない

症状

英語版 Windows 2000 の OnDemand クライアントで、ターゲット言語の地域に設定しても、別の言語の文書を正しく表示できない。

考えられる原因

「your locale(location)」または「¥set¥default¥"system locale"」(あるいはその両方) が、ターゲット言語に設定されていない。

アクション

必ず「your locale(location)」と「¥set¥default¥"system locale"」の両方が、ターゲット言語として設定されるようにします。

トラブルシューティング・シナリオ 2: AFP プラグインが、バックレベルの OnDemand クライアントで失敗する

症状

最新のリフレッシュ・パックに付いているバージョンに、ご使用のコンピューターの AFP プラグインをアップグレードしたが、それ以降、Web を通じた AFP 文書の表示が行えなくなった。

考えられる原因

AFP プラグインの新しいバージョンが、iconv 表を使用している。OnDemand クライアントがバックレベルの場合、ご使用のシステムに iconv 表がない場合があります。

アクション

OnDemand クライアントをアップグレードして、レジストリーを修正します。これを行うと、AFP プラグインで iconv 表を使用できるようになります。

トラブルシューティング・シナリオ 3: MAPI をインストールしても、「Send To」機能が使用できない

症状

MAPI をインストールしても、クライアントの「Send To」機能が使用できない。

考えられる原因

Windows Messaging Subsystem レジストリー・キーが、「0」に設定されている。

アクション

必ず、以下のレジストリー・キーを 0 以外に設定してください。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Microsoft\Windows Messaging Subsystem
```

トラブルシューティング・シナリオ 4: PDF 文書を表示しようとするエラーが起こる

症状

システムに完全な Acrobat バージョン 6 がインストールされているのに、OnDemand クライアントから PDF 文書を表示しようすると、「文書を初期化できません」または「文書の初期化に失敗しました (Failure to Initialize Document)」といったメッセージが表示される。

考えられる原因

このメッセージは、クライアントが Adobe Acrobat PDF 表示ソフトウェアを開始できなかったことを示しています。最も一般的な原因は、完全な Acrobat バージョン 6 をシステムにインストールするとき、Windows レジストリーの特定キーに間違った値が入れられてしまうことです。

アクション

Notepad などのエディターで、以下の 2 行を含む .reg ファイルを作成します。

```
[HKEY_CLASSES_ROOT\AcroExch.Document\DefaultIcon]
@="C:\Program Files\Adobe\Acrobat 6.0\Acrobat\Acrobat.exe,1"
```

Adobe バージョン 6 が、上記のパスではないディレクトリーにインストールされている場合、それを反映させるため、この 2 行の .reg ファイルを変更します。 .reg ファイルを保管してそれをダブルクリックし、この特定キーまたは値を、Windows レジストリーにマージします。 OnDemand クライアントを再始動します。

トラブルシューティング・シナリオ 5: 大きな文書を表示すると PDF がブランク・ページを表示する

症状

PDF 文書を表示した際に、テキストが含まれているはずのページがブランクで表示される。認識されていないトークン `token_name` が見つかりました、というメッセージが表示されることもあります。

考えられる原因

このエラーは、PDF 内のオブジェクトが不完全なとき、またはオブジェクトからキー・エレメントが欠落しているときに起こります。オブジェクトが使用可能になる状態まで、Web サーバーがオブジェクトをダウンロードしないと、このエラーがよく起こります。

アクション

Adobe Acrobat の「Web 表示用に最適化を許可」オプションと「バックグラウンドでのダウンロードを許可」オプションを無効にしてください。

Adobe Acrobat のこれらのオプションを無効にするには、以下のようになります。

1. 「編集」->「環境設定」をクリックします。
2. 左側のナビゲーション・ペインから「インターネット」を選択します。
3. 「Web 表示用に最適化を許可」と「バックグラウンドでのダウンロードを許可」の、両方のチェック・ボックスのチェック・マークを外します。
4. 「OK」をクリックします。

これらのオプションを無効にすると、Adobe Acrobat の文書表示が遅くなったと感じるかもしれません。大きな PDF 文書を表示することがあまりない場合は、これらのオプションを選択したままにしてください。

トラブルシューティング・シナリオ 6: スペースが含まれているフィールドを使って検索したが、検索結果が作成されなかった

症状

検索基準フィールドに、スペースが含まれる値を入力し、検索を実行したが、なにも検索結果を受け取らなかった。

考えられる原因

検索を組み立てる際に In 演算子を使用したと考えられます。In 演算子では、検索要求を区切るための区切り文字としてスペースを使用します。スペースが含まれる値を入力したとき、In 演算子はそれを 2 つの照会として解釈します。

アクション

In 演算子を使用する際は、スペースがある値を使用しないでください。

トラブルシューティング・シナリオ 7: 印刷された行データが非常に小さい

症状

行データが、画面上では読み取れる程度の大きさなのに、印刷すると非常に小さくなってしまいます。

考えられる原因

OnDemand は、各ページの行データを印刷するページに合わせようとしています。そのページの行または列の数が多すぎてページ内に収まらない場合、プリント・ウィンドウで定義したマージンの内側に収まるように行データが縮小されます。

アクション

この問題は、以下の方法で解決できます。

- 各ページに表示される行および列の数が減るように文書を変更し、印刷する前にその文書を再ロードします。
- 問題が起きたときよりも大きな用紙にその文書を印刷する。

付録. OnDemand for OS/390 Version 2.1 サーバーにアクセスするための OnDemand クライアントの構成

注: OnDemand for OS/390 Version 2.1 サーバーは、サポートされなくなりました。

IBM Content Manager OnDemand for OS/390 Version 2.1 サーバーは、インストールされているレベルの OnDemand Windows クライアントをサポートしなければなりません。クライアントをインストールする前に、インストール予定のクライアントが、ご使用のサーバー保守レベルでサポートされることを確認する必要があります。最近リリースされたサーバーでは、サーバーを初期化する際にサポート対象のクライアントが表示されるようになっています。

クライアントが OnDemand for OS/390 Version 2.1 サーバーにアクセスできるようにするためには、クライアントを構成して、いくつかの設定値を定義する必要があります。これらの設定値は、セットアップ時に `setup.ini` ファイルを使用して定義することも、後で手動プロセスで定義することもできます。

OS/390 Version 2.1 サーバーにアクセスできるように OnDemand クライアントを構成するには、以下のステップに従ってください。

1. **オプション (推奨):** OnDemand for OS/390 Version 2.1 サーバー用に必要な設定値を `setup.ini` ファイルで指定します。
2. OnDemand for OS/390 Version 2.1 の必須コマンド行パラメーターを追加します。パラメーターの追加は `setup.ini` ファイルで行うことも、手動でインストール・ステップに従って行うこともできます。パラメーターを追加した後で、それらのパラメーターに関するショートカット・プロパティ・ターゲット・フィールドが更新されていることを確認してください。
3. **Object Linking and Embedding (OLE) には必須:**
`SetFolderCloseMemoryRelease` メソッドを使用します。
4. **オプション (推奨):** パフォーマンスを向上させるために、ショート・ソケット・モードで実行するようにクライアントを構成します。この構成は `setup.ini` ファイルを使用して自動的に行うこともできますが、プロセスを手動で行うこともできます。
5. 「サーバーの更新」ウィンドウで、「統合ログオンの試行」チェック・ボックスのチェック・マークを外します (ただし、特別な目的でこのオプションが必要な場合を除きます)。

ステップ 1: 推奨: `setup.ini` ファイルで設定値を指定する

`setup.ini` ファイルは、OnDemand クライアントをインストールする際に、特定のオプションを指定して `Setup` を実行するときに使用されます。[S390] セクションを追加することにより、ショート・ソケット・モードを使用して接続を行うためにクライアントを自動的にインストールし、OnDemand for OS/390 Version 2.1 によって必要とされるパラメーターを OnDemand クライアントのショートカットに追加することができます。以下に例を示します。

```
[S390]
Sockets=User
Parameters=/Q /O 1 /9
```

パフォーマンスを向上させるために、ショート・ソケット・モードを使用することをお勧めします。また、OnDemand for OS/390 Version 2.1 サーバーに接続するときには、これらのコマンド行パラメーターが必要です。

Sockets=User

Windows レジストリーの HKEY_CURRENT_USER レジストリー・キーに、Disconnect=1 ショート・ソケット・パラメーターを入れます。

Sockets=Local

Windows レジストリーの HKEY_LOCAL_MACHINE レジストリー・キーに、Disconnect=1 ショート・ソケット・パラメーターを入れます。Windows システムで OnDemand を使用する場合には、複数のユーザーが別々の ID でオペレーティング・システムにログオンする必要があるため、このオプションをお勧めします。

Parameters

[S390] セクションには、上の例で示した必須コマンド行パラメーターに加えて、別のコマンド行パラメーターを追加することができます。詳しくは、『ステップ 2: 必須: 必須コマンド行パラメーターを追加する』を参照してください。以下に例を示します。

```
Parameters=/Q /O 1 /9 /S servername
```

ステップ 2: 必須: 必須コマンド行パラメーターを追加する

OnDemand for OS/390 Version 2.1 サーバーにアクセスするときに OnDemand Windows クライアントを正しく機能させるためには、いくつかのコマンド行パラメーターを追加する必要があります。これらのコマンド行パラメーターは、Setup.ini ファイルのセットアップ時に OnDemand のショートカットに自動的に追加することも、手動で追加することもできます。例えば、OnDemand ショートカットのターゲットとして、次のように指定することができます。

```
C:\Program Files\IBM\OnDemand32\ARSGUI32.EXE /1 C:\Program Files\IBM\OnDemand32\LOCALE\ENU /Q /O 1 /9
```

ここで、それぞれの値は次のような意味を持ちます。

/Q - フォルダがクローズされたときにメモリーを解放する

フォルダのクローズ時に、そのフォルダに関連付けられたすべてのメモリーを解放し、フォルダの再オープン時に、サーバーからのフォルダ情報を更新します。

/O 1 - オープン・フォルダの最大数

オープンするフォルダの数を、1 つに制限します。

/9 - 追加の OnDemand for OS/390 パラメーター

このパラメーターを追加すると、「共通の注 (Public Note)」チェック・ボックスにはチェック・マークが付き、解除できない状態になります。

OnDemand for OS/390 Version 2.1 におけるすべての注は、共通の注です。

「注を別のサーバーにコピー可」チェック・ボックスにはチェック・マークが付き、解除できない状態になっています。これにより、随時 CD-ROM 機

能で注を保管できるようになります。また、「文書ヒット・リスト (Document Hitlist)」からは、サーバー印刷を使用することができますが、ローカルおよび LAN の印刷は使用することができません。文書を表示しているときには、ローカル、LAN、およびサーバーのすべての印刷が使用可能になります。

ステップ 3: OLE を使用する場合には必須: SetFolderCloseMemoryRelease メソッドを使用する

Object Linking and Embedding (OLE) コントロールをインプリメントするには、OnDemand for OS/390 バージョン 2.1 のフォルダーがクローズされているときに、SetFolderCloseMemoryRelease メソッドを使用してください。これは、60 ページの『ステップ 2: 必須: 必須コマンド行パラメーターを追加する』で説明した必須コマンド行パラメーター /Q と同じ働きをします。

ステップ 4: 推奨: 「ショート・ソケット」モードで実行するようにクライアントを構成する

OnDemand クライアントは、インストールされた時点では、長時間実行タスク (ロング・ソケット) としてサーバーを開始するように構成されています。パフォーマンスを最大にするために、デフォルト設定を長時間実行タスク (ロング・ソケット) から短時間実行タスク (ショート・ソケット) に変更してください。

DISCONNECT = 1 はショート・ソケット用のパラメーターであり、DISCONNECT = 0 はロング・ソケット用のパラメーター (デフォルト) です。ショート・ソケットの構成は、以下の方法のいずれかで行うことができます。

- Setup.ini ファイルを使用して、自動的にショート・ソケットを構成する
- 手動でショート・ソケットを構成する

Setup.ini ファイルを使用して自動的にショート・ソケットを構成するための方法については、『ステップ 1: 推奨: setup.ini ファイルで設定値を指定する』を参照してください。

ショート・ソケットを手動で構成するには、Windows システム・レジストリー (REGEDT32) を編集しなければなりません。次の手順に従ってください。

1. ご使用のワークステーションに OnDemand クライアントがインストールされていることを確認します。
2. 「スタート」->「ファイル名を指定して実行」と選択し、「regedit」を開きます。
3. 「regedit」で「HKEY_CURRENT_USER」または「HKEY_LOCAL_MACHINE」->「ソフトウェア」->「IBM」->「OnDemand32」->「共通」->「サーバー」と選択します。
4. 「サーバー」をクリックします。「デフォルト」および「SERVERS」に関する項目が表示されます。
5. 画面の右側を右クリックします。
6. 「新規」->「string 値」と選択します。
7. Disconnect と入力します。

8. **Disconnect** をダブルクリックします。ショート・ソケットを表す 1 またはロング・ソケットを表す 0 を入力します。
9. 「regedit」をクローズします。

ステップ 5: OS/390 サーバーにアクセスするために「サーバーの更新」ウィンドウ内の「統合ログオンの試行」チェック・ボックスをクリアする

OnDemand クライアントを開始した後で、「サーバーの更新」ウィンドウで「**統合ログオンの試行**」チェック・ボックスが選択されていないことを確認してください。統合ログオンが有効なのは、OnDemand サーバーが Windows 環境にある場合に限られます。OnDemand on OS/390 に接続している場合には、「**統合ログオンの試行**」を選択しないでください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711
東京都港区六本木 3-2-12
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
J46A/G4
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1003
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM	DRDA	OS/2
Advanced Function Presentation	EDMSuite	OS/390
Advanced Function Printing	Enterprise Storage Server	Parallel Sysplex
AFP	ES/3090	OS/400
AIX	eServer	Presentation Manager
AIX/6000	FlowMark	Print Services Facility
AS/400	ImagePlus	pSeries
Bar Code Object Content Architecture	Infoprint	RACF
BCOCA	Intelligent Printer Data Stream	RS/6000
BookManager	IPDS	S/390
CICS	i5/OS	SecureWay
Cryptolope	iSeries	SET
DataJoiner	Language Environment	SP
DB2	Lotus	System/370
DB2 Connect	Lotus Notes	Tivoli
DB2 Universal Database	Mixed Object Document Content Architecture	Ultrastar
DFSMSdfp	MO:DCA	VideoCharger
DFSMSdss	MQSeries	VisualInfo
DFSMSHsm	MVS	WebSphere
DFSMS/MVS	MVS/DFP	z/OS
Domino	Notes	
Domino.Doc	OpenEdition	

Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、Pentium は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

OnDemand Windows クライアント・プログラムの一部には、Pixel Translations Incorporated のライセンス・ソフトウェアが含まれています。

© Pixel Translations Incorporated 1990, 2003. All rights reserved.

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

用語集

[ア行]

アイコン (icon). アプリケーションまたは他のウィンドウを表現するためにウィンドウ・マネージャーによって使用される 32 × 32 ピクセルのビットマップ。

アプリケーション (application). OnDemand で、レポートまたは入力ファイルの物理属性を記述するオブジェクト。入力ファイルの中のデータのタイプ、コード・ページ、入力データに紙送り制御文字が含まれているかどうかなどを記述する。アプリケーションには、データの索引付けプログラムやロード・プログラムが入力データを処理するために使用する命令も含まれる。通常、OnDemand に保管する予定の、異なる出力印刷データ・ストリームまたはデータ・ソースごとに、1 つのアプリケーションを定義する。

[カ行]

拡張機能表示 (Advanced Function Presentation (AFP)). ライセンス・プログラムのセットであり、全点アドレス可能概念を使用して多種多様なプリンターでデータを印刷したり、多様なディスプレイ・デバイスでデータを表示したりする。

管理者 (administrator). OnDemand で、システムの保守を行う許可を持つ担当者。例えば、OnDemand 管理者はユーザーとフォルダーの追加、更新、および削除を行うことができる。

キャビネット (cabinet). フォルダーのコンテナ。キャビネットを使用することで、フォルダーを管理し、ユーザーがより簡単にフォルダーへナビゲートできるようにすることができる。1 つのフォルダーは、1 つまたは複数のキャビネットに属することができる。

行データ (line data). IBM 3800-1 型印刷サブシステムなどのライン・プリンターでの印刷用に作成されたデータ。行データは、通常、紙送り制御文字および表参照文字などで表現される。

行データ印刷ファイル (line-data print file). 行データから構成されるファイル。任意で、限定された構造化フィールドのセットにより補足される。

クライアント (client). (1) 分散ファイル・システム環境で、プログラムやプログラムへのアクセスを提供するサーバーに依存しているシステム。(2) OnDemand ソフ

トウェアが稼働しネットワークに接続されているワークステーションであり、ライブラリー・サーバーにログオンして照会を行うことができる。また、OnDemand から文書を検索し、文書の表示と印刷を行うことができる。

コピー・グループ (copy group). Tivoli® Storage Manager では、バックアップ・ファイルとアーカイブ・ファイルの生成、宛先、および有効期限を制御する属性を含むポリシー・オブジェクト。コピー・グループには、バックアップとアーカイブの 2 種類がある。コピー・グループは管理クラスに属する。

[サ行]

サーバー (server). (1) ネットワーク上の、データが含まれるコンピューター、またはネットワーク上の他のコンピューターからアクセスされる機能を備えたコンピューター。(2) コンピューター・システム内のデバイス間でデータを転送するのに必要なプロトコル、キューイング、ルーティング、およびその他のタスクを処理するプログラム。(3) レポート・ファイルを保管、検索、および保守する OnDemand プログラムを実行する、TCP/IP ネットワークに接続されたワークステーション。OnDemand は、ライブラリー・サーバーとオブジェクト・サーバーの 2 つのタイプのサーバーをサポートする。

サーバー・プリンター (server printer). ネットワーク・サーバーに接続され、IBM Infoprint® Manager などのサーバー印刷マネージャーによって管理されるプリンター。

ストリング (string). 一連の英字または数字。

[タ行]

注 (notes). OnDemand 文書に付加できる電子的なコメント、説明、および覚え書。

注釈 (annotations). 文書に付加できるコメント、説明、および覚え書。

ツールバー (toolbar). グラフィカル・ユーザー・インターフェースをサポートする OnDemand クライアント・プログラムのメインウィンドウのメニュー・バーのすぐ下にある領域。

ツールバー・ボタン (toolbar button). グラフィカル・ユーザー・インターフェースをサポートする OnDemand クライアント・プログラムの 1 つのコマンドを表す、ツールバー上の小さなビットマップ。コマンドに迅速にアクセスするには、ツールバー・ボタンをクリックする。

デフォルト (default). ユーザーが他の値を指定していないときに使用される値、属性、またはオプション。

デフォルト値 (default value). 他の明示的な指定がないときに使用される、あらかじめ定められた値、属性、またはオプション。

[ナ行]

名前付き照会 (named query). 将来、検索基準として使用するために、ユーザーが名前を付け、保管した「検索基準と文書リスト」ウィンドウ中の入力フィールド値セット。

入力 (type). キーボードを使用して、文字を指定されたとおりに正確にタイプすることによって、具体的な情報を入力すること。

ネットワーク (network). ロケーション間での情報交換を目的として通信回線によって接続されているデータ処理プロダクトの集合。

[ハ行]

表示ウィンドウ (viewing window). 文書をブラウズする OnDemand のウィンドウ。

フォルダー (folder). 明細書、送り状、あるいは通信文など、情報のソースや、データの保管場所を問わない関連情報のためのコンテナ。フォルダーを開くと、フォルダー内に含まれている全情報にアクセスすることができる。例えば、請求書フォルダーは過去 2 年間にわたる顧客取引に関する全レポートを含む。

文書 (document). (1) OnDemand で、数千の送り状からなる 1 つのレポートの中の 1 つの送り状など、より大きなファイルの 1 つの論理的なセクション。文書は、レポートの中のページの索引付きグループを表すこともできる。(2) AFP データ・ストリーム文書を含むファイル。AFP データ・ストリーム文書は、「文書開始」および「文書終了」構造化フィールドを境界とし、文書構成プログラム (DCF) などのテキスト・フォーマッターを使用して作成できる。

ポイント (point). 活字組みの測定単位で、0.01384 インチ (0.35054 mm) と等しく、およそ 1/72 インチ。1 パイカは 12 ポイントある。

[マ行]

メニュー・バー (menu bar). ウィンドウの最上部のエリアであり、ユーザーがそのウィンドウ内で実行できるアクションにアクセスする手段となる選択項目を含む。

[ヤ行]

ユーザー (user). OnDemand サーバーへのログオンを許可された人。

[ラ行]

レポート (report). ユーザー定義プログラムまたはその他のソフトウェア・プログラムによって生成される印刷データ・ストリーム。数百あるいは数千ページの関連情報を含むことができる。大部分のレポート・ファイルは、文書と呼ばれる単一または複数のページ・オブジェクトに論理的に分割して索引を付けることができる。

ローカル・エリア・ネットワーク (local area network (LAN)). (1) ユーザーの施設などの限られた地域内に設置されているコンピューター・ネットワーク。ローカル・エリア・ネットワーク内での通信は、外部の規制を受けない。ただし、LAN 境界を越える通信は、何らかの形の規制を受ける場合がある。(2) 一連のデバイスが通信を目的として相互に接続されているネットワークであり、より大きなネットワークへの接続が可能である。「トークンリング・ネットワーク (Token-Ring Network)」も参照。

[ワ行]

ワイルドカード文字 (wildcard character). 他の英字、数字、または特殊文字を表す検索文字。OnDemand では、% (パーセント) および _ (下線) がワイルドカード文字である。

A

AFP. 拡張機能表示 (Advanced Function Presentation)

L

LAN. ローカル・エリア・ネットワーク (local area network)。

W

Web 管理クライアント (Web administrative client).

ユーザー、グループ、アプリケーション、アプリケーション・グループ、フォルダー、プリンターおよびストレージ・セットの追加、表示、更新および削除を行うことができる Web ベースの管理クライアント。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アクセシビリティ 45
移動, 文書内のページへの 36
印刷
 選択した文書 39
 文書 38
「印刷」ツールバー・ボタン 39
インストール
 ネットワーク 8
 配布 8
 複数ユーザー 8
 CD-ROM 7
 Windows クライアント 7
ウィンドウ
 検索基準と文書リスト 29, 33
 「サーバーの更新」 19
 「サーバーへのログオン」 17
 フォルダーを開く 25

[カ行]

開始, OnDemand の
 「スタート」メニューから 15
 デスクトップから 15
 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウから 15
クライアント
 コマンド行パラメーター 13
 始動パラメーター 13
クローズ
 フォルダー 49
 文書 49
検索
 停止 31
 取り消し 31
検索, 文書内の情報の 37
検索, 文書の 29
 「検索」ツールバー・ボタン 37
 「検索基準と文書リスト」ウィンドウ 29, 33
更新
 クライアント・ソフトウェア 11
 サーバー情報 19
コマンド行パラメーター 13

[サ行]

サーバー
 からのログオフ 50
 既存情報の変更 20
 削除 23
 CD-ROM 21
サーバー情報
 更新 19
「サーバーの更新」ウィンドウ 19
サーバーへのログオン 17
「サーバーへのログオン」ウィンドウ 17
削除, サーバーの 23
自動インストール 8
始動パラメーター 13
自動表示, 文書の 34
終了, OnDemand の 50
ショートカット
 作成 45
ショートカット・キー 45
推奨される準備 vi
前提条件
 推奨システム 5
 ソフトウェア要件 5
 ディスク・スペース所要量 5
 ネットワーク要件 5
 ハードウェア要件 5
送信
 文書 40
ソフトウェア要件 5

[タ行]

タスク
 サーバーへのログオン 17
 「スタート」メニューからの開始 15
 デスクトップからの開始 15
 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウからの開始 15
 フォルダーのオープン 25
 文書の選択と表示 33
 OnDemand の停止 50
注
 説明 38
 付加, 文書への 38
注釈
 説明 38
 付加, 文書への 38
「直前オープン文書の表示」ツールバー・ボタン 35

「直前の出現を検出」ツールバー・ボタン 38
「次のオープン文書の表示」ツールバー・ボタン 35
「次の出現の検出」ツールバー・ボタン 37, 38
トラブルシューティング・シナリオ
 検索結果の入手に失敗した 57
 別の言語の文書が表示できない 55
 AFP プラグインが, バックレベルの OnDemand クライアントで失敗する 55
 PDF がブランク・ページを表示する 56
 PDF 文書を表示しようとするエラーが起こる 56
 「Send To」機能が使用できない 56
取り消し, 文書検索の 41

[ナ行]

ナビゲート, 文書の 36
ネットワーク・インストール 8
ネットワーク・サーバーの追加 22
ネットワーク・ファイル・サーバー
 クライアント・ソフトウェアのインストール 8
 説明 8

[ハ行]

ハードウェア要件 5
ハード・ディスク・サーバーの追加 22
配布インストール 8
パラメーター
 コマンド行 13
 始動 13
表示, 文書の 36
表示, 文書プロパティの 41
「表示中に直前ページを表示」ツールバー・ボタン 37
ファックス送信
 選択した文書 39
 文書 38
フォルダー
 オープン 25
 クローズ 49
「フォルダーを開く」ウィンドウ 25
複数ユーザー・インストール 8
文書
 印刷 38

文書 (続き)

クローズ 49

検索 29

選択 33

送信

電子メールで 40

MAPI で 40

注コマンド 38

注釈 38

表示 33, 34, 36

ファックス送信 38

別のページへの移動 36

Find コマンド 37

go to コマンド 36

文書検索の停止 34, 41

文書の送信 40

文書表示ウィンドウ 35

文書プロパティ

表示 41

「文書リスト」ツールバー・ボタン 36

「文書リスト中の直前文書の検索と表示」

ツールバー・ボタン 36

文書リスト内からの検索と表示

直前の文書 36

次の文書 36

変更、既存サーバーに関する情報の 22

ホスト名 19

[ヤ行]

ユーザー定義ファイル

インストール 8

説明 8

要件

推奨システム 5

ソフトウェア 7

ソフトウェア要件 5

ディスク・スペース 7

ディスク・スペース所要量 5

ネットワーク 7

ネットワーク要件 5

ハードウェア 7

ハードウェア要件 5

[ワ行]

ワイルドカード文字 30

A

Adobe Acrobat 5

AFP フォント

説明 9

Windows クライアントでのマッピング

9

ATM 5

autoview 34

C

CD-ROM

OnDemand サーバーとして使用 47

CD-ROM サーバー 21

CD-ROM のインストール 7

G

go to コマンド 36

「Go To」ツールバー・ボタン 37

O

OnDemand

停止 50

OnDemand クライアント

除去 51

OnDemand サーバーとして CD-ROM を

使用する 47

S

「Send」ツールバー・ボタン 40

T

TCP/IP サーバーの情報の変更 20

W

Windows クライアント

インストール 7

更新 11

除去 53

追加 53

変更 53

Adobe Acrobat 5

ATM 5

CD-ROM 7



プログラム番号: 5697-N93
5724-J33
5722-RD1

SC88-8839-05



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12